



第2回 日高川(中上流域)を考える会

説明資料

平成27年6月11日

和歌山県

前回

日高川水系の流域及び河川の概要

流域の概要、社会環境

日高川水系の河川の現状と課題

治水、利水、環境の現状と課題

今回

河川整備計画の目標に関する事項

河川整備計画の対象、河川整備計画の目標

河川の整備の実施に関する事項

河川工事の目的(河川工事の内容)

河川の維持の目的、種類及び施工の場所(維持管理)

その他河川整備を計画的に行うための必要事項(ソフト対策)

河川整備計画の目標に関する事項

日高川水系河川整備計画の対象期間について

河川整備計画の対象期間

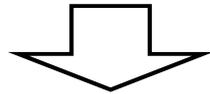
- ◆河川整備計画の対象期間は、計画策定から概ね20年間とする。
- ◆河川整備計画は、現地点での流域の社会状況、自然状況、河道状況に基づき策定するものであり、策定後の状況変化や新たな知見・技術の進歩等によって、適宜、河川整備計画を見直すものとする。

日高川水系河川整備計画の目標に関する事項①

(1) 洪水による災害の発生防止または軽減に関する事項

計画的に河川工事を実施する河川

- 近年、浸水被害が発生した河川
- 床上浸水等、浸水被害が大きな河川



- 日高川(江川合流点含む)
- 西川(東裏川合流点含む)
- 下川
- 齊川・堂閉川

日高川水系河川整備計画の目標に関する事項②

(1) 洪水等による災害の発生防止または軽減に関する事項

■ハード対策

日高川	<p>将来的には、<u>既往最大洪水(昭和28年7月洪水、平成23年9月台風12号洪水)と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とするが、相当の長期間が必要となることから、早期に一定の整備効果を発現させるための段階的な整備として、既往最大洪水の次に大きな被害をもたらした平成15年8月台風10号と同規模の洪水に対して、家屋浸水被害を解消することを目標とする。</u></p> <p>なお、整備計画が完了することにより、<u>既往最大洪水に対しても家屋浸水被害が大幅に軽減</u>できる。</p>
西川	<p><u>既往最大洪水(平成18年9月豪雨洪水)と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とする。</u></p>
下川	<p><u>既往最大洪水(平成18年7月梅雨前線豪雨洪水)と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とする。</u></p>
齊川・堂閉川	<p><u>既往最大洪水(平成18年9月豪雨洪水)と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とする。</u></p>

■ソフト対策（超過洪水対策）

- ・洪水情報の提供（洪水時の水位情報の提供・ハザードマップ等）
- ・水防体制の維持・強化（水防活動等）

日高川水系河川整備計画の目標に関する事項③

(2)津波・地震対策に関する事項

- ◆東海・東南海・南海地震を想定し、堤防・水門・樋門・ポンプ場等の点検を行い、必要に応じて水門・樋門の遠隔操作が可能なシステムへの変更を図っていくものとする。
- ◆東海・東南海・南海地震等に備え、河川を遡上する津波を防御できるよう必要な対策を講じる。また、今後の地震・津波対策においては、必要に応じ最新の知見を反映し、柔軟な対応を行う。

(3)河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

- ◆渇水時の被害を最小限に抑えるため、円滑な渇水調整と関係者への適切な情報提供が行われるように、関係機関及び利水者との連携を強化する。

(4)河川環境の整備と保全に関する事項

■水質

- ◆河川の利用状況、沿川地域の水利用状況、現状の環境を考慮し、下水道整備等の関連事業や関係機関との連携・調整及び地域住民との連携を図りながら、現状の水質の改善・保全に努める。

■動植物の生息・生育環境

- ◆河川整備に際しては、動植物の生息・生育の場として良好な環境の保全、再生及び周辺環境との調和に努める。
 - ・魚類の降下・遡上のため、縦断的連続性を確保する。
 - ・自然河岸をできるだけ保全するとともに、自然な透水性と空隙、植生をもった構造とする。
 - ・人工的に改変された河岸は、低水路の形成等、可能な範囲で水際に多様性を持たせる。

(4)河川環境の整備と保全に関する事項

■河川利用

- ◆河川空間は人と自然がふれあえる貴重な空間であるため、河川特性等を考慮のうえ、水辺に近づきやすい工夫や親水施設の整備に努める。
- ◆不法占用やプレジャーボート等の不法係留、ゴミの不法投棄等の不法行為に対し適切な処置を行う。

■地域住民との連携

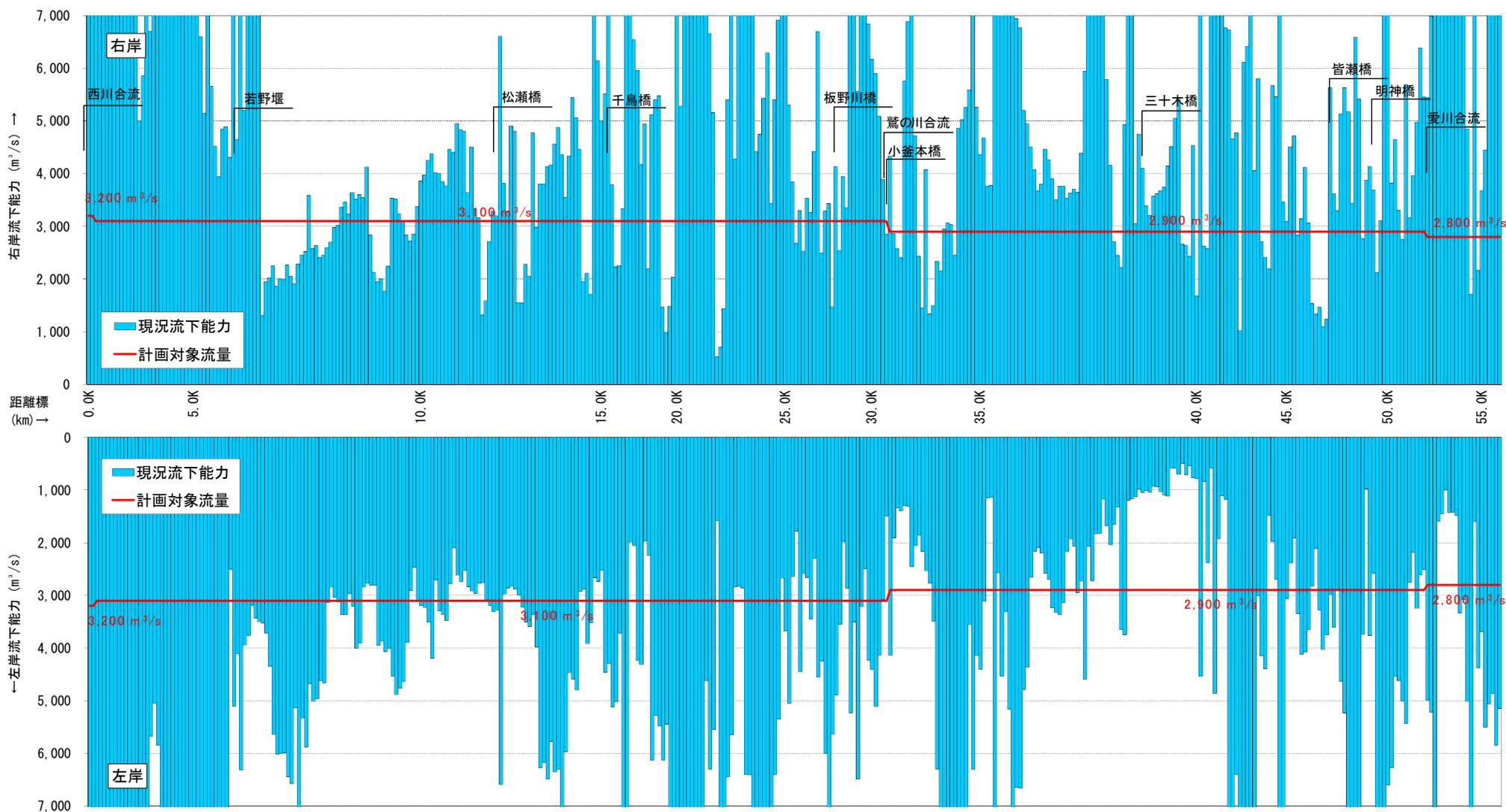
- ◆地域住民にとって豊かで魅力ある河川とするため、河川工事の実施に先立ち調整を行う等、地域住民と連携した川づくりを進める。

河川の整備の実施に関する事項

現況流下能力 ～日高川～

流下能力図

計画対象流量：平成15年8月台風10号と同規模



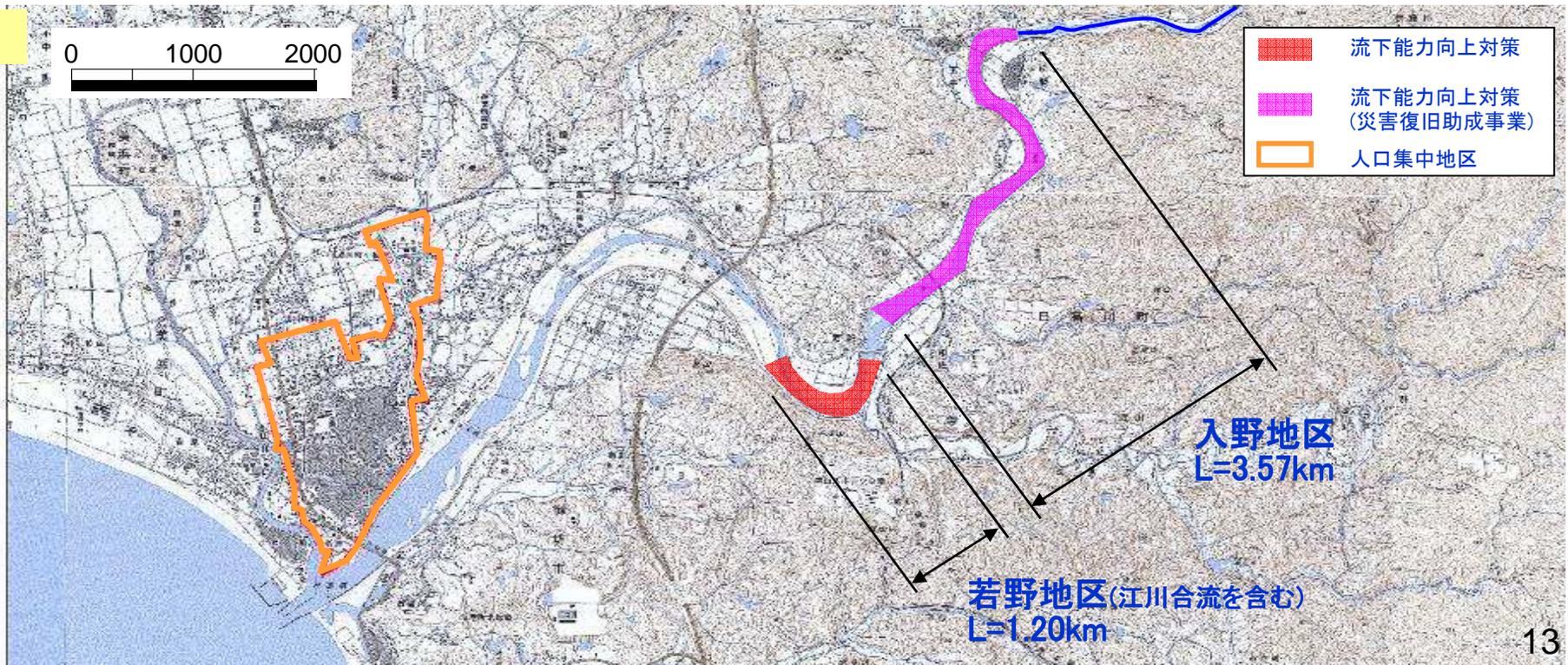
計画対象流量に対して流下能力が不足している箇所が多くあることから、効率的・効果的な河川改修を行うため、流下能力が不足し、背後地の土地利用が住宅地の区間を整備検討区間とする。

流下能力不足箇所 ～日高川①～

整備検討区間

測点 (KP)		0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	
流下能力不足区間	右岸			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	左岸		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
過去の浸水実績	右岸			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	左岸		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
堤防状況	右岸	■ 築堤				■ 掘込み								
	左岸	■ 築堤				■ 掘込み								
土地利用	右岸	■ 住宅地	■ 住宅地	■ 耕地等										
	左岸	■ 住宅地	■ 住宅地	■ 耕地等	■ 住宅地	■ 耕地等	■ 耕地等	■ 耕地等						
整備検討区間		<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 整備区間 <small>〈若野地区〉 〈入野地区〉</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>〈平川地区〉</small> 整備区間 <small>〈船津地区〉</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>〈坂野川地区〉</small> 整備区間 <small>〈田尻地区〉</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>〈三十木地区〉</small> 整備区間 <small>〈皆瀬地区〉</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>〈浅間地区〉</small> 整備区間 </div> </div>												

位置図

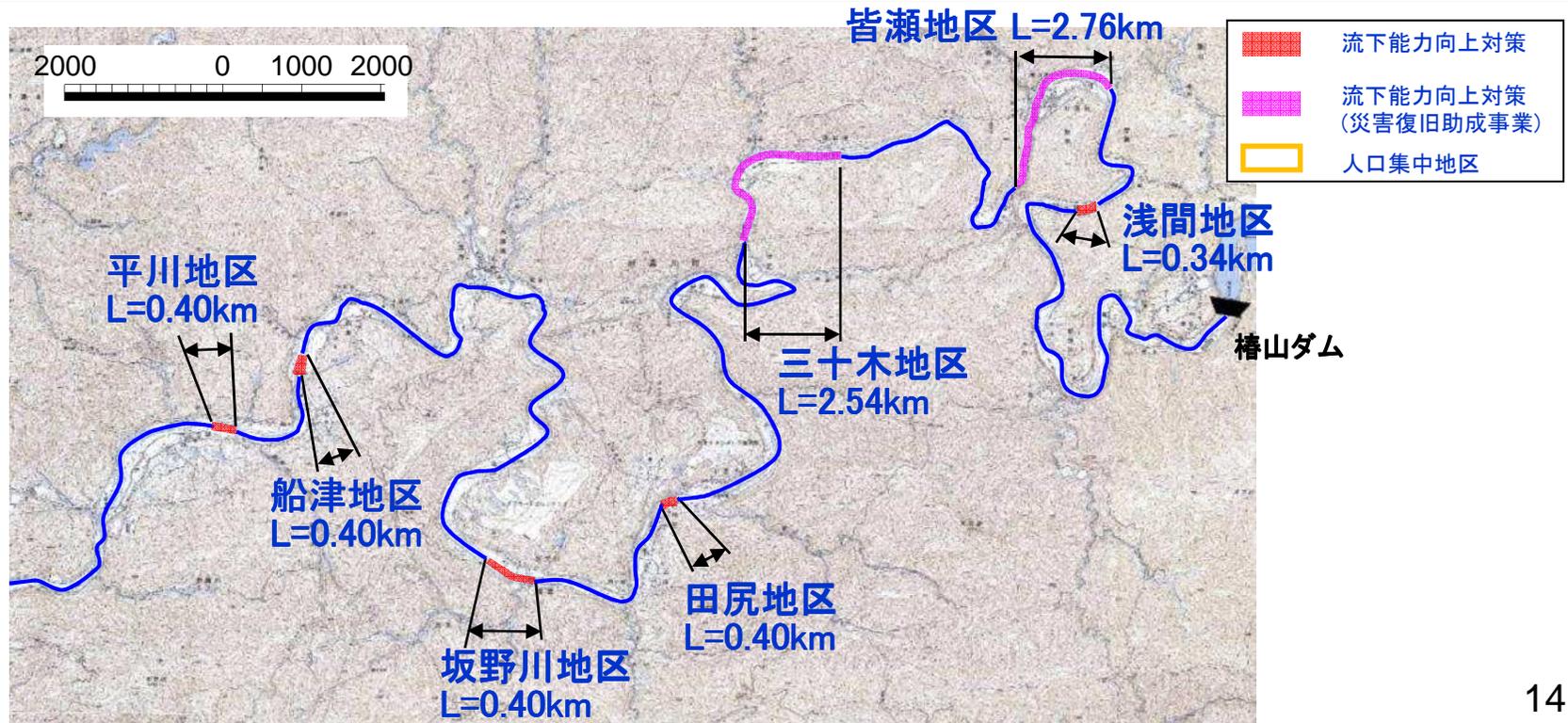


流下能力不足箇所 ～日高川②～

整備検討区間

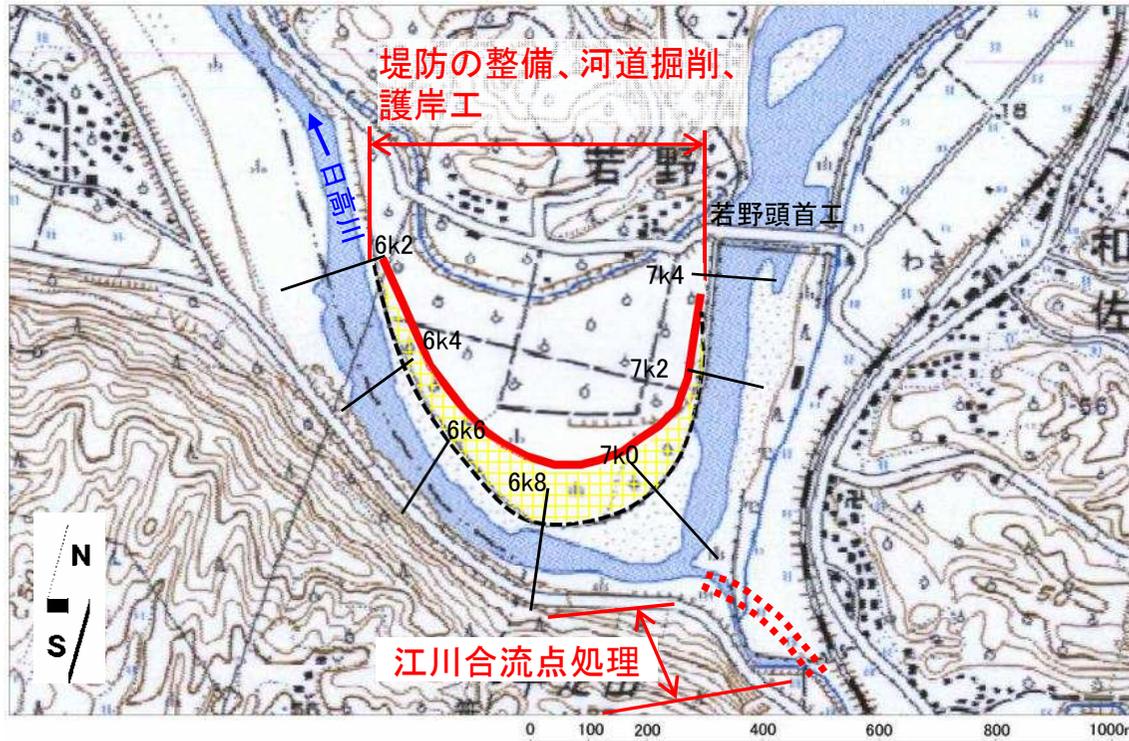
測点 (KP)		0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	
流下能力不足区間	右岸			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	左岸		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
過去の浸水実績	右岸			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	左岸		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
堤防状況	右岸	■ 築堤				■ 掘込み								
	左岸	■ 築堤				■ 掘込み								
土地利用	右岸	■ 住宅地	■ 住宅地	■ 耕地等										
	左岸	■ 住宅地	■ 住宅地	■ 耕地等	■ 住宅地	■ 耕地等	■ 耕地等	■ 耕地等						
整備検討区間	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 整備区間 <small>〈若野地区〉 〈入野地区〉</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>〈平川地区〉</small> <small>〈船津地区〉</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>〈坂野川地区〉</small> <small>〈田尻地区〉</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>〈三十木地区〉</small> </div> <div style="text-align: center;"> 整備区間 <small>〈皆瀬地区〉</small> </div> <div style="text-align: center;"> <small>〈浅間地区〉</small> </div> </div>													

位置図



流下能力向上対策 ～日高川 若野地区～

平面図



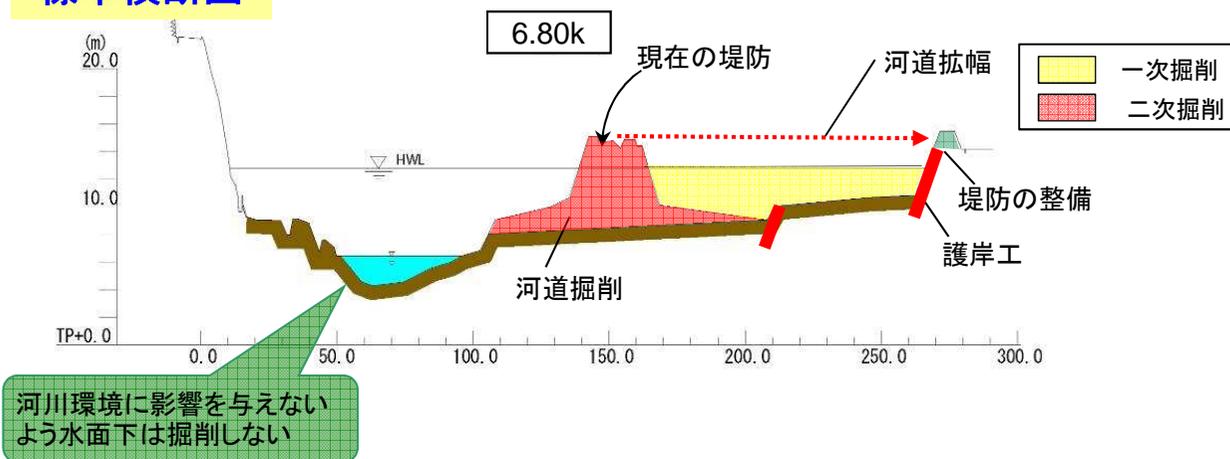
※江川合流点処理は、今後の検討により法線等が変更されることがあります。

現地写真

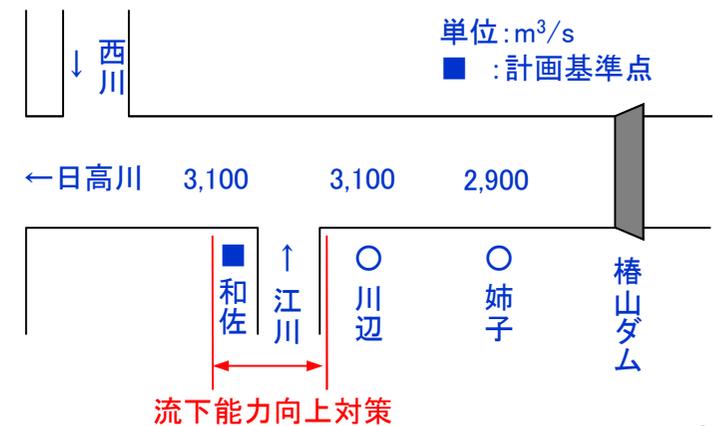


若野頭首工(7.4k付近)から下流を望む

標準横断面図

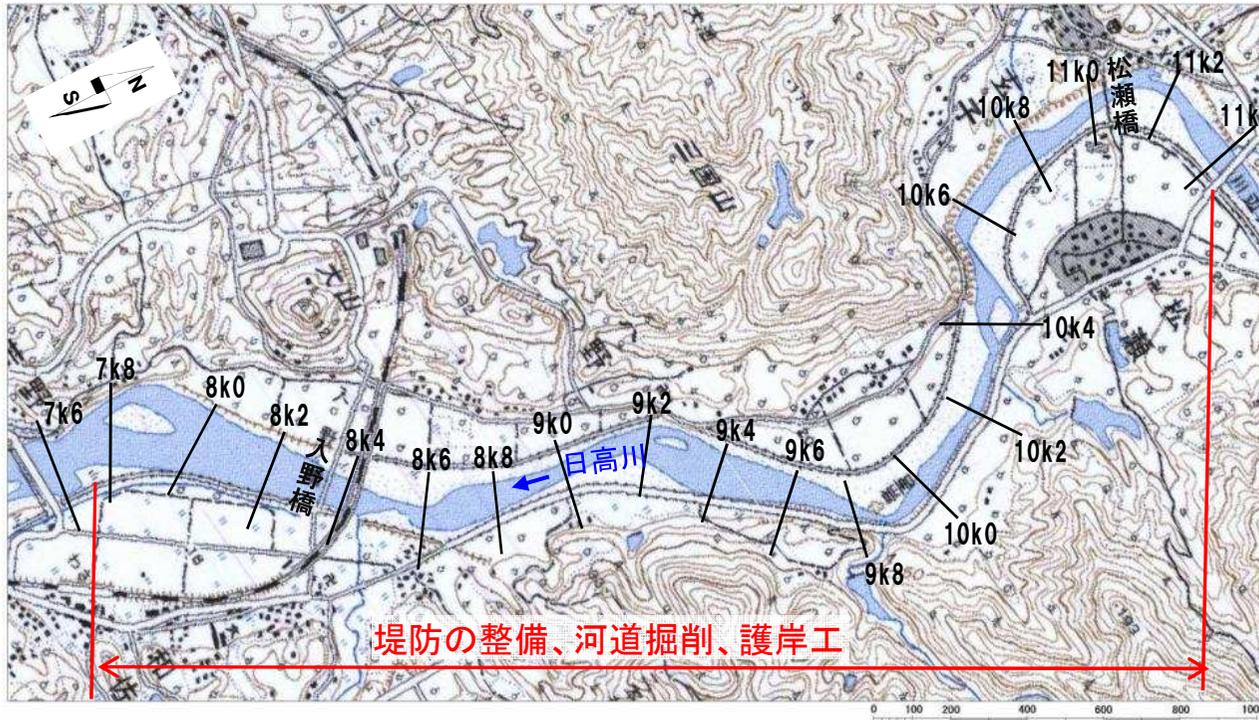


流量配分図



流下能力向上対策 ～日高川 入野地区～

平面図

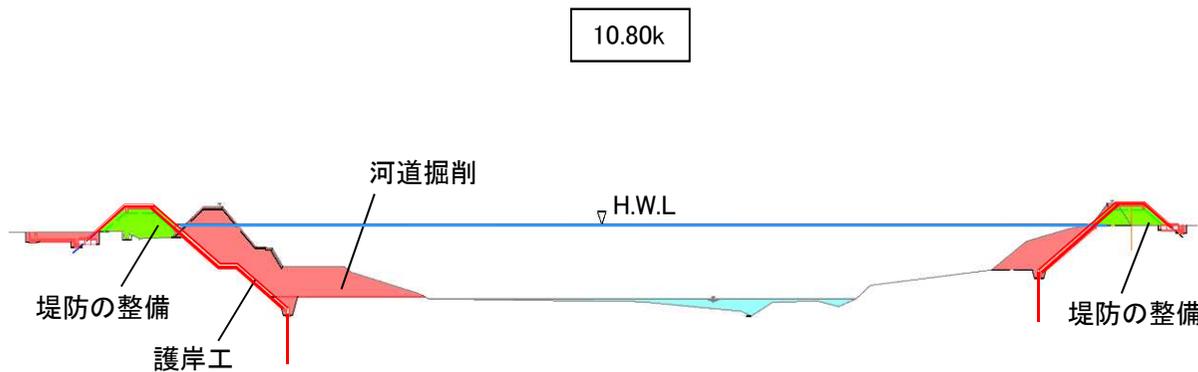


現地写真

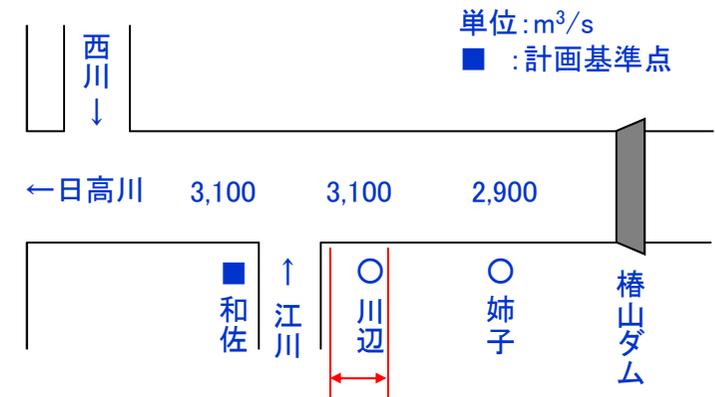


松瀬橋(11.0k付近)から下流を望む

標準横断面図



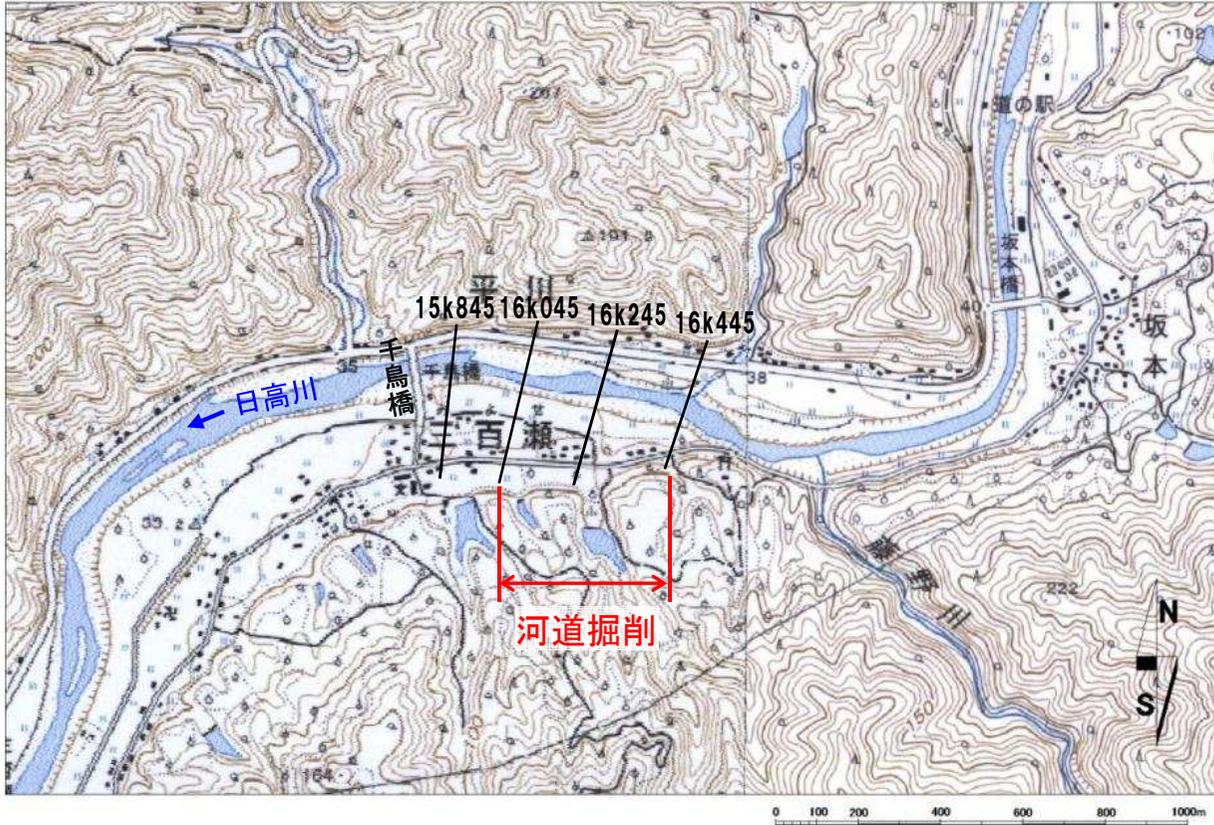
流量配分図



流下能力向上対策

流下能力向上対策 ～日高川 平川地区～

平面図

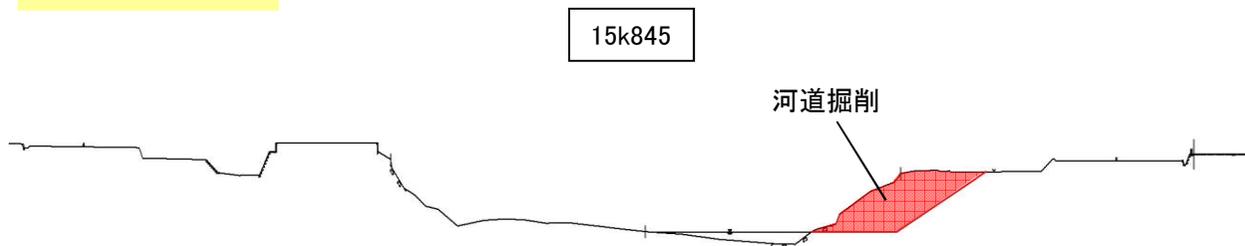


現地写真

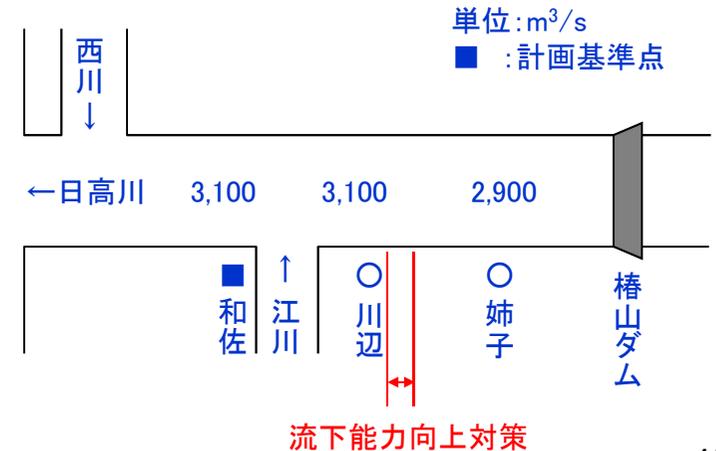


千鳥橋(15.7k付近)から上流を望む

標準横断面図



流量配分図



流下能力向上対策 ～日高川 船津地区～

平面図

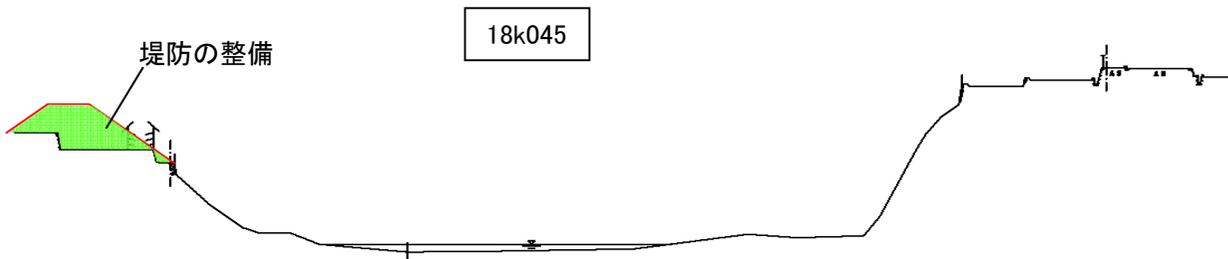


現地写真

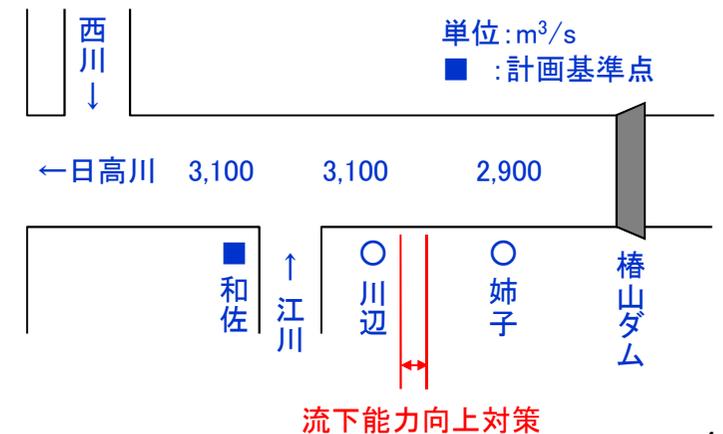


道の駅(17.9k付近)から左岸を望む

標準横断面図

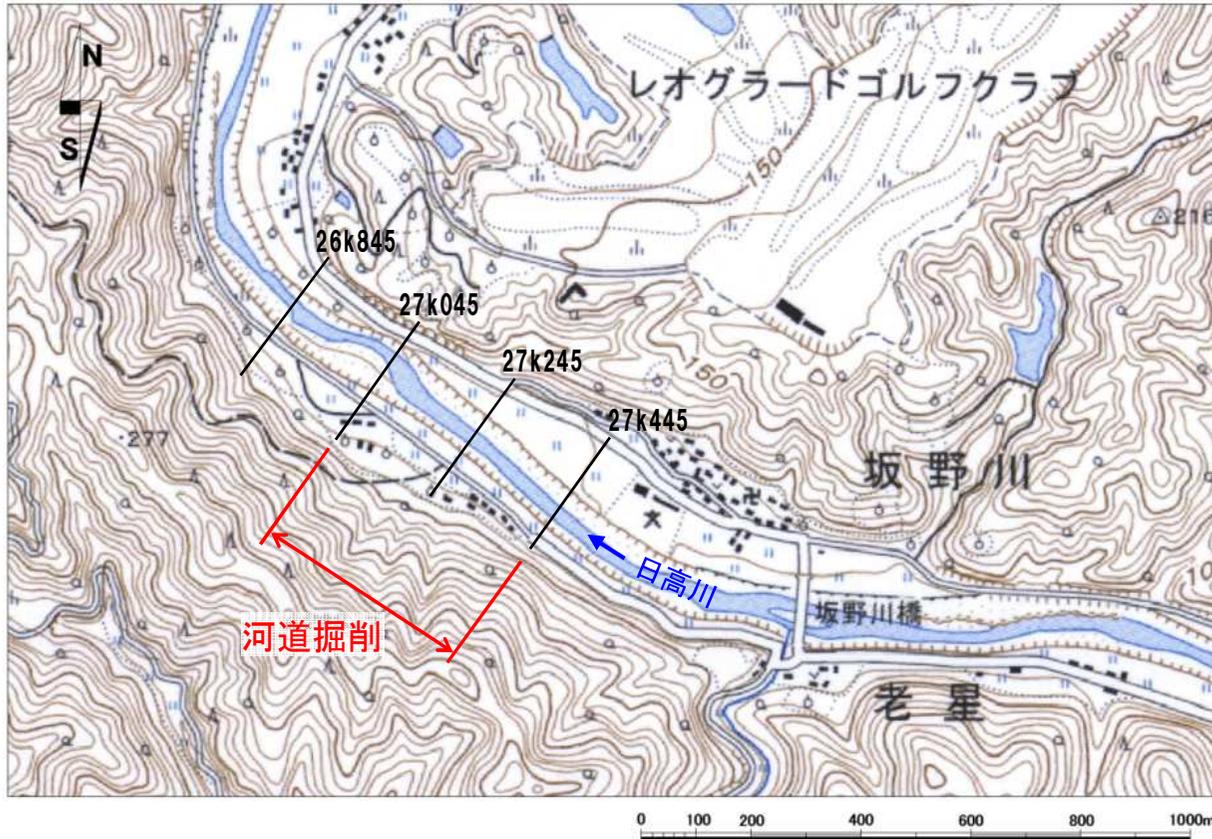


流量配分図



流下能力向上対策 ～日高川 坂野川地区～

平面図

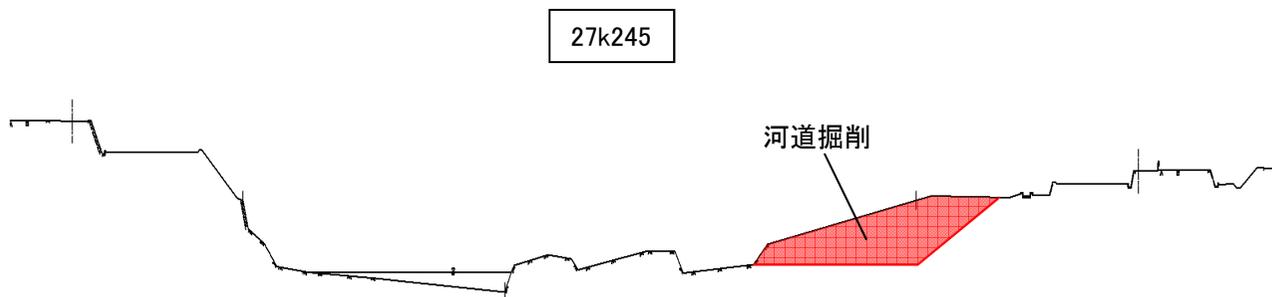


現地写真

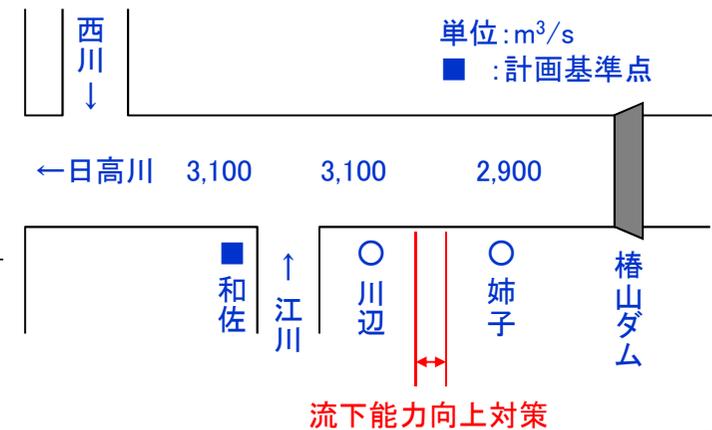


左岸(27.2k付近)から下流を望む

標準横断面図



流量配分図



流下能力向上対策 ～日高川 田尻地区～

平面図

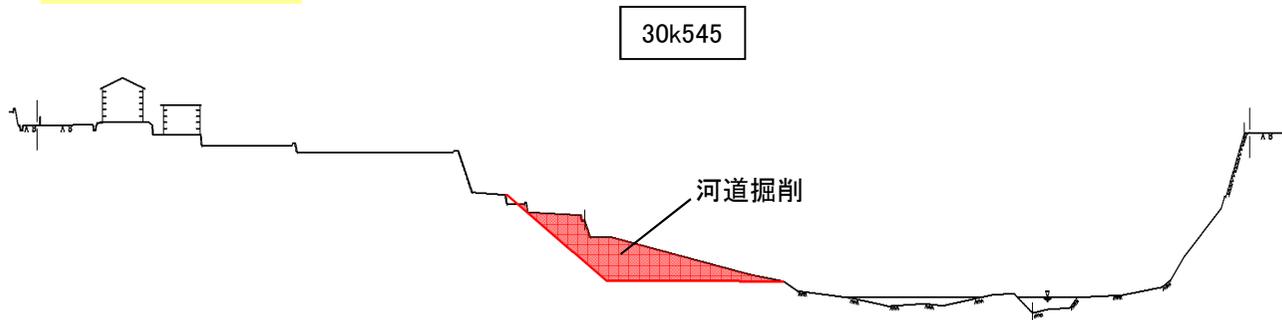


現地写真

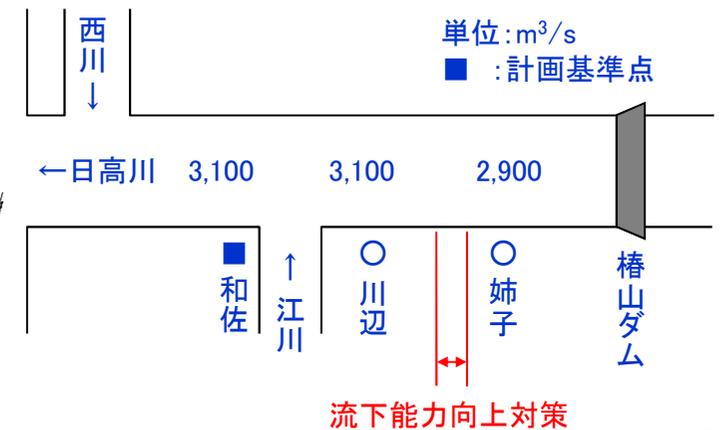


右岸(30.7k付近)より左岸を望む

標準横断面図

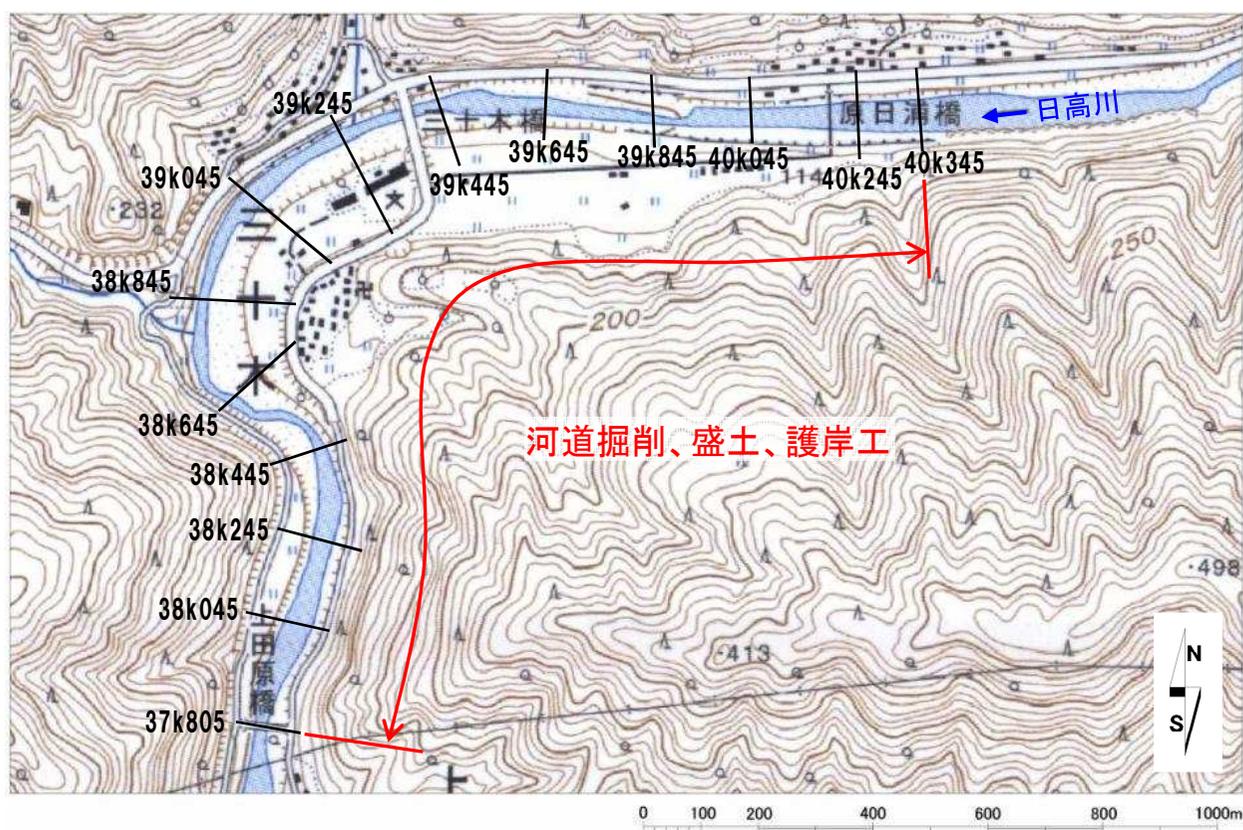


流量配分図



流下能力向上対策 ～日高川 三十木地区～

平面図

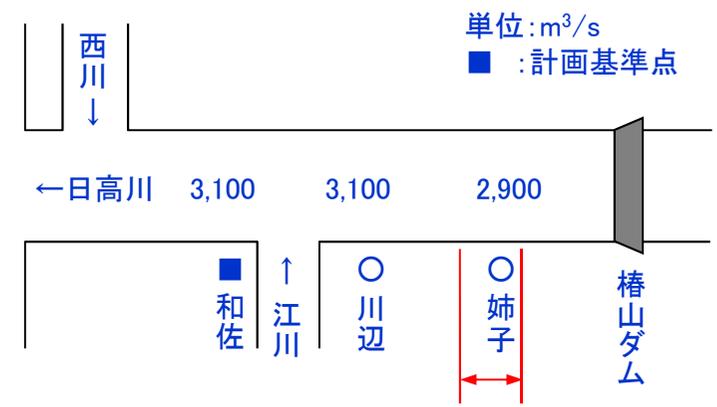


現地写真

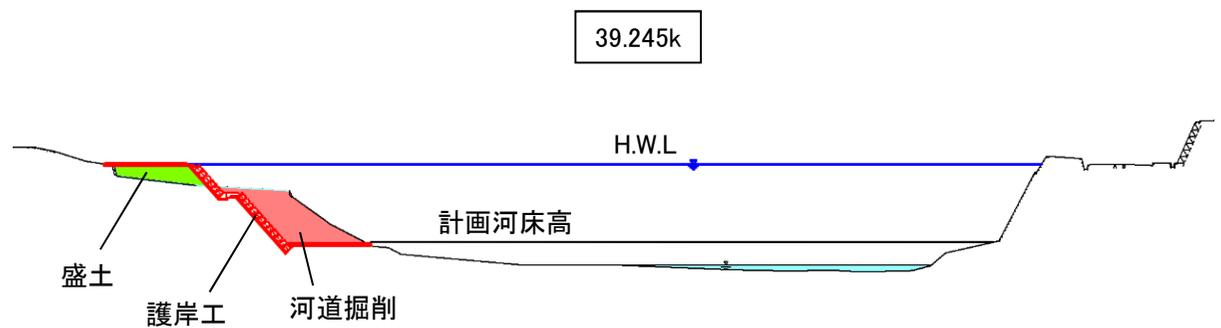


原日浦橋(40.1k付近)から下流を望む

流量配分図



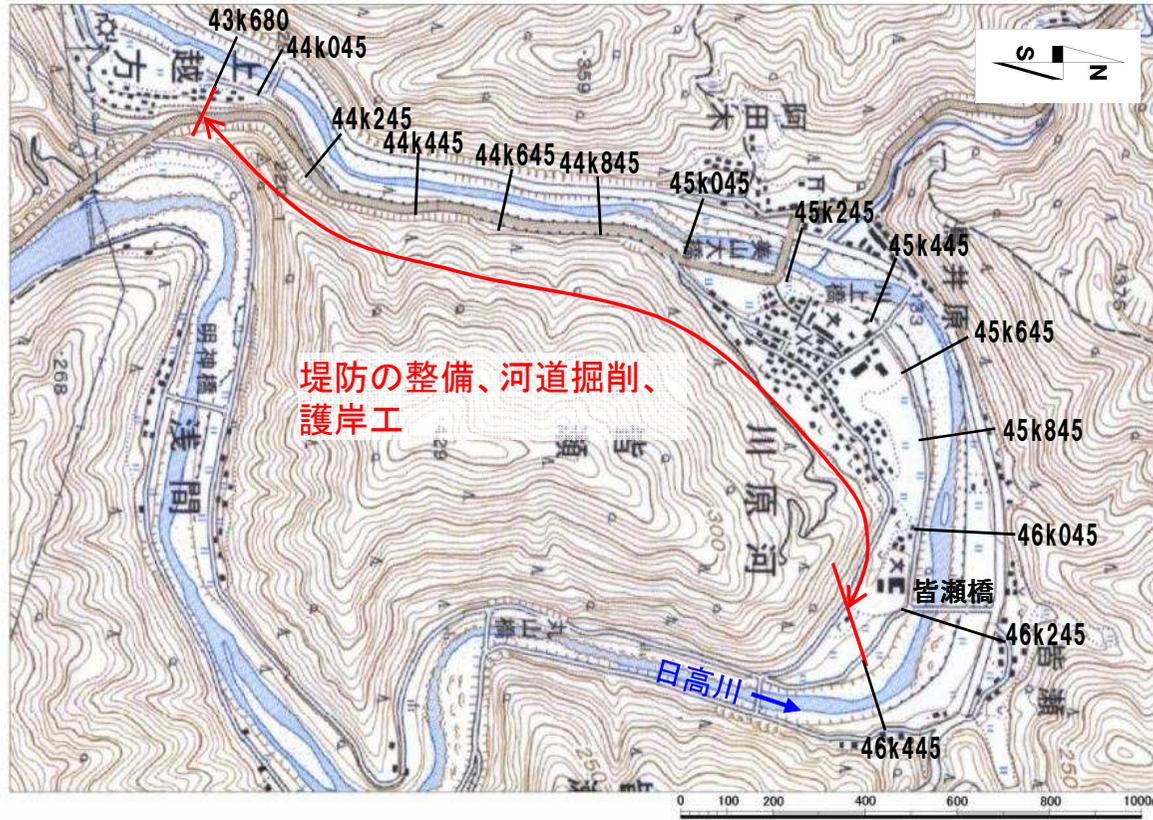
標準横断面図



流下能力向上対策

流下能力向上対策 ～日高川 皆瀬地区～

平面図

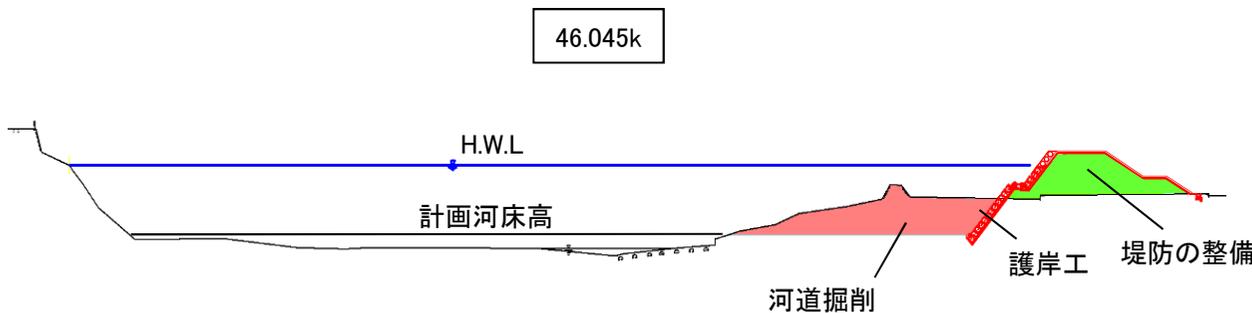


現地写真

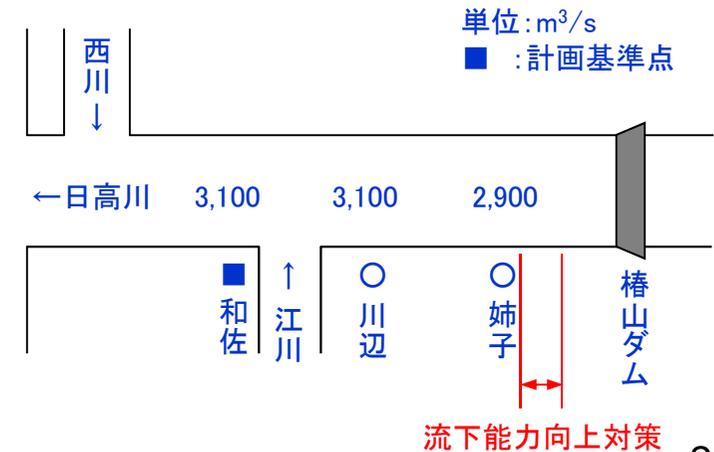


川上橋(45.5k付近)から下流を望む

標準横断図

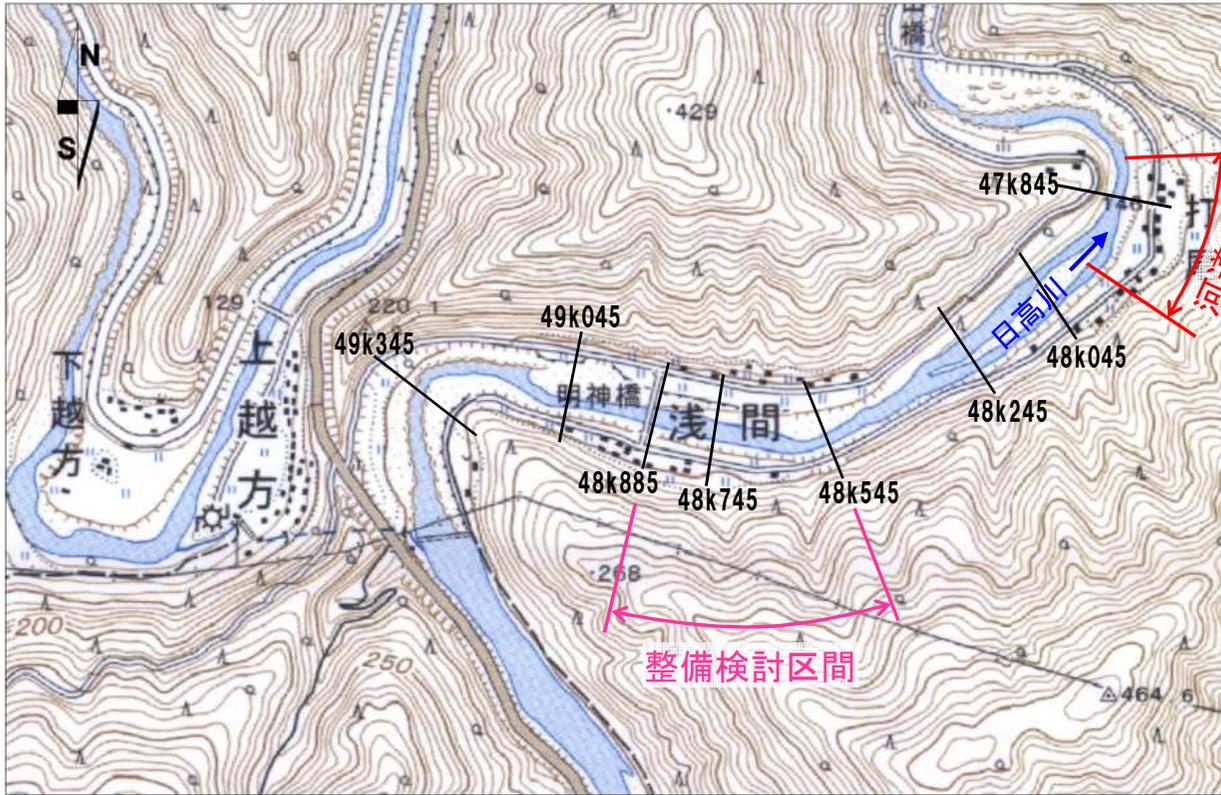


流量配分図



流下能力向上対策 ～日高川 浅間地区～

平面図

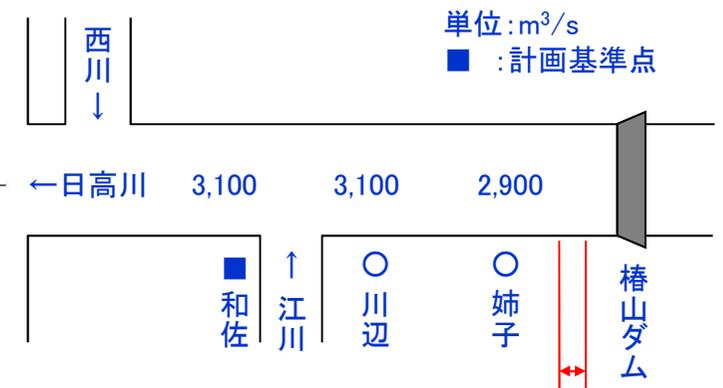


現地写真

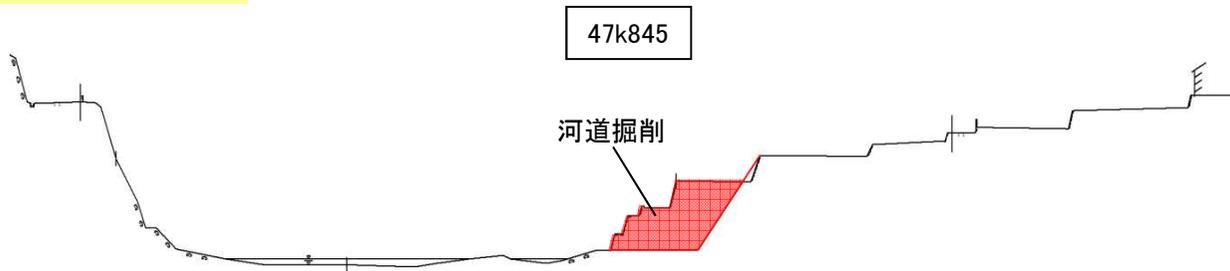


明神橋(48.9k付近)から下流右岸を望む

流量配分図



標準横断面図



流下能力不足箇所 ～西川～

整備検討区間

測点 (KP)		0	1	2	3	4	5	6	7
流下能力不足区間	右岸			不足		不足	不足	不足	不足
	左岸		不足	不足	不足	不足	不足	不足	不足
過去の浸水実績	右岸								
	左岸				浸水				
堤防状況	右岸	築堤							
	左岸	築堤							
土地利用	右岸	住宅地		耕地					
	左岸	住宅地		耕地	住宅地		耕地		
整備検討区間	整備検討整備								

位置図

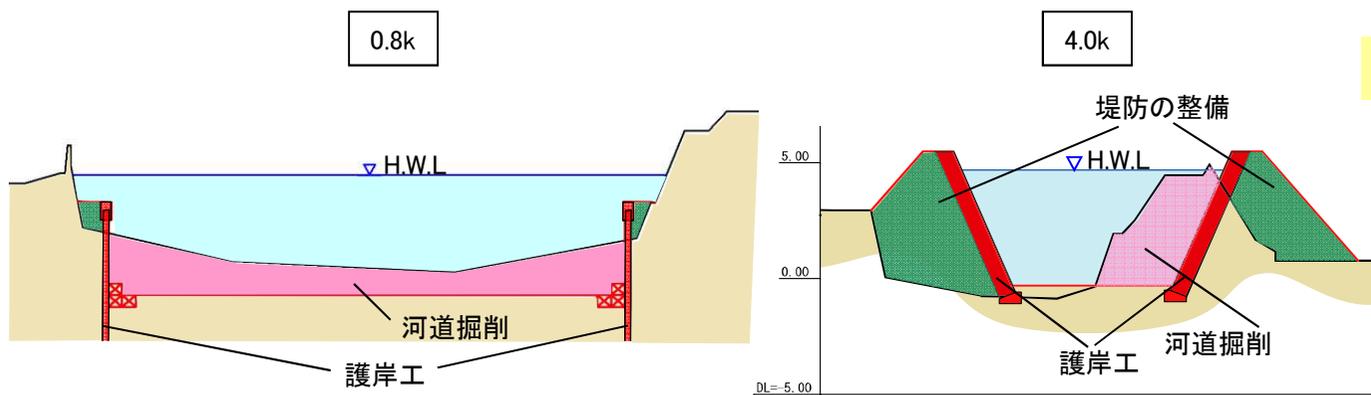


流下能力向上対策 ～西川～

平面図



標準横断面図



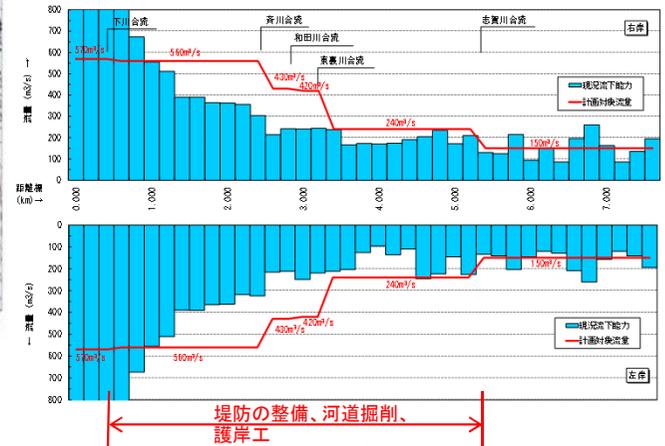
現地写真



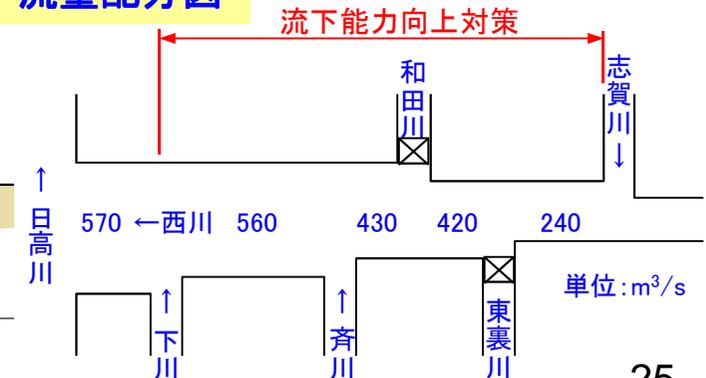
中橋(4.0k付近)から上流を望む

流下能力図

計画対象流量
：平成18年9月豪雨洪水と同規模

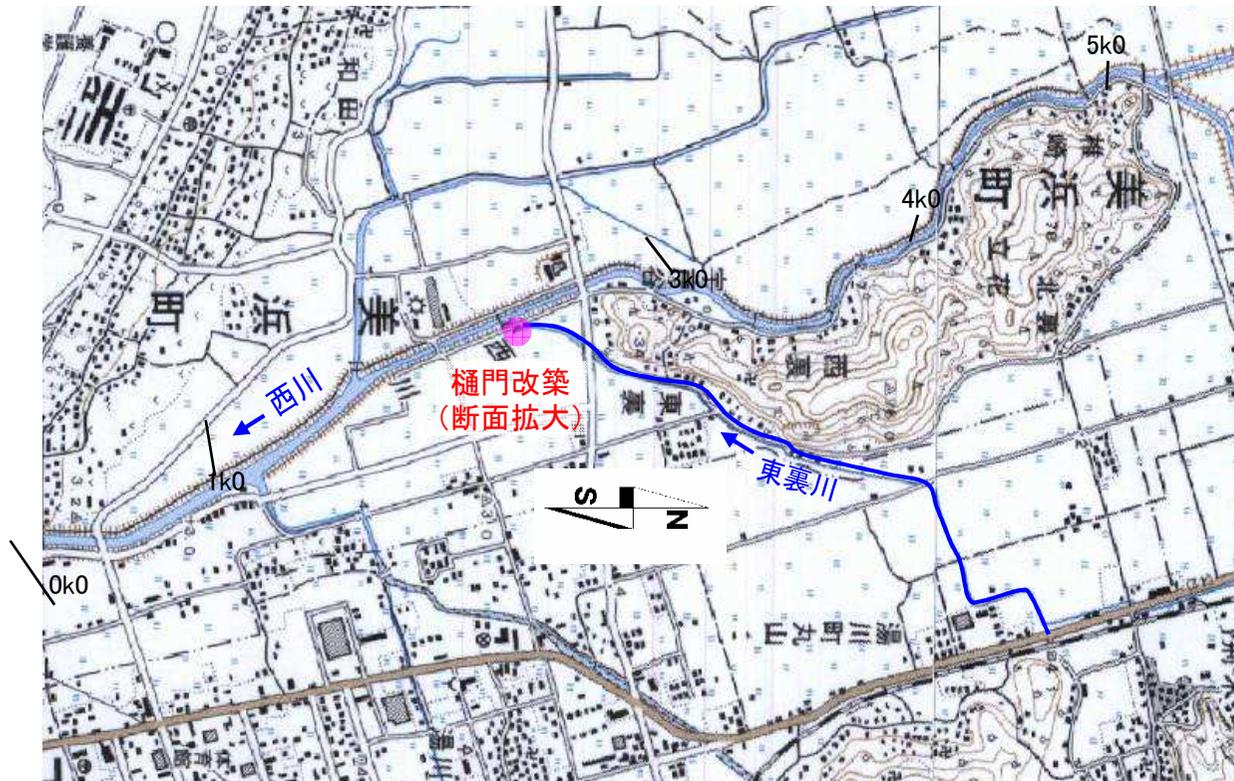


流量配分図



合流点処理対策 ～西川(東裏川合流点)～

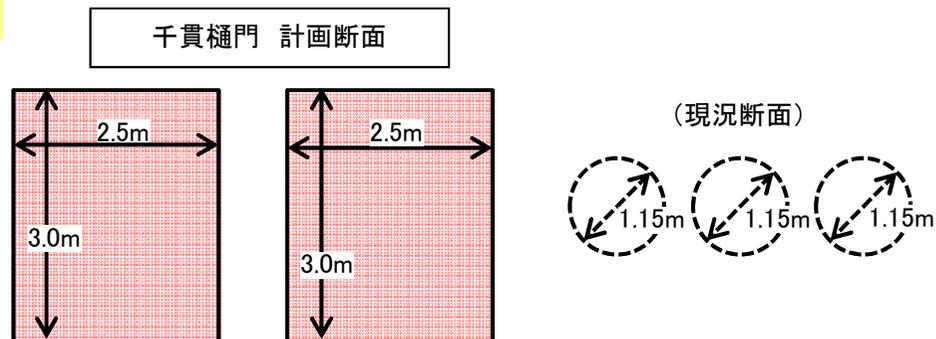
平面図



現地写真



閘門断面図

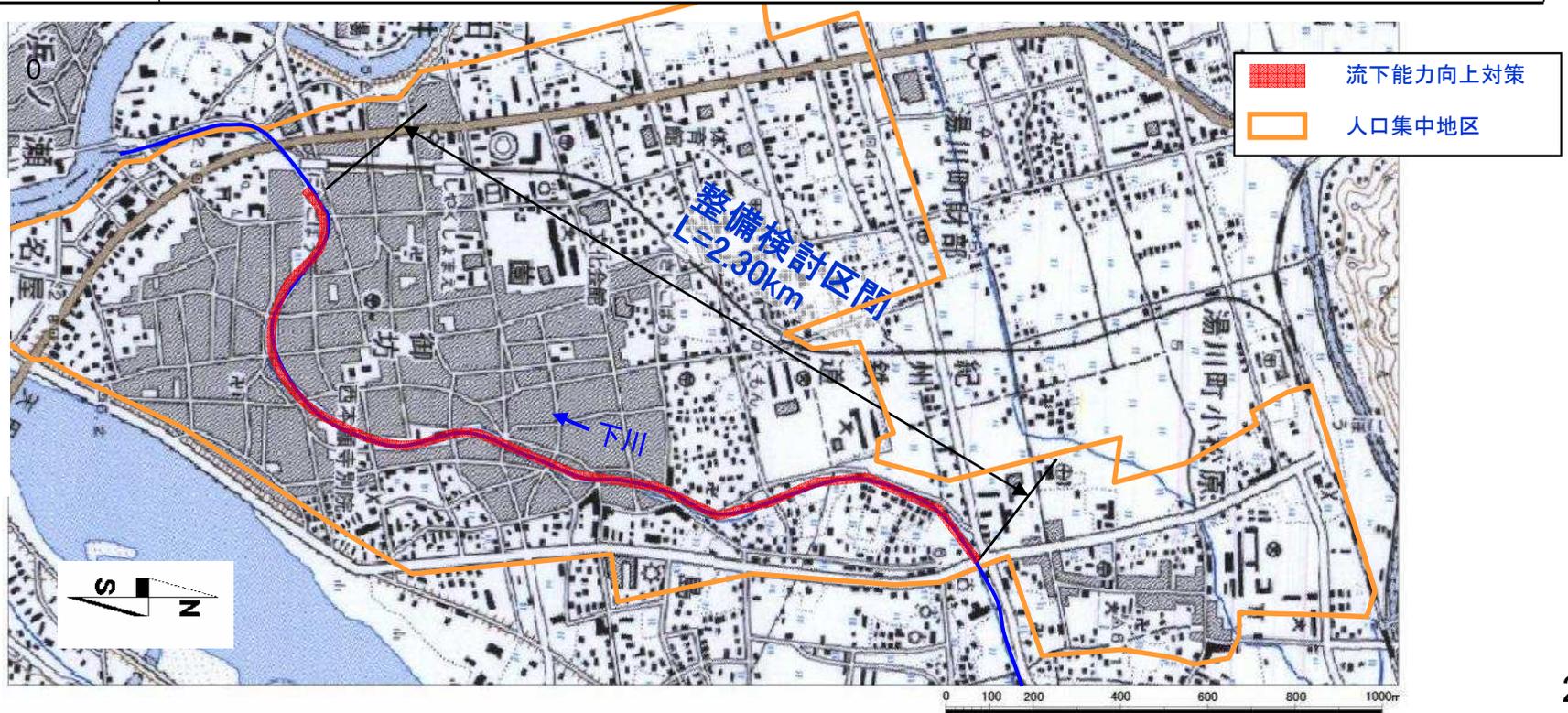


流下能力不足箇所 ~下川~

整備検討区間

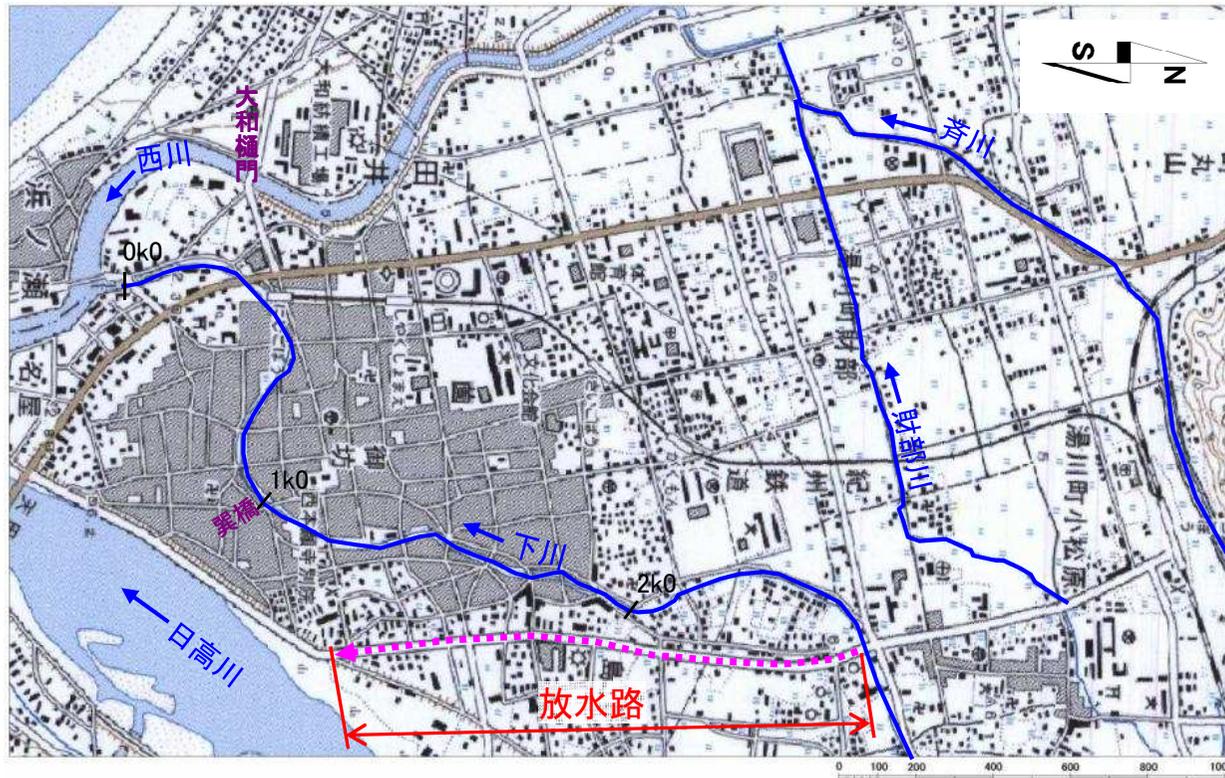
測点 (KP)		0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	
流下能力不足区間	右岸		不足				不足	
	左岸		不足				不足	
過去の浸水実績	右岸		浸水					
	左岸		浸水					
堤防状況	右岸	掘込み						
	左岸	掘込み						
土地利用	右岸	住宅地					耕地	住宅地
	左岸	住宅地						
整備検討区間		整備検討区間						

位置図



流下能力向上対策 ～下川～

平面図



※今後の検討により、放水路の法線等が変更されることがあります。

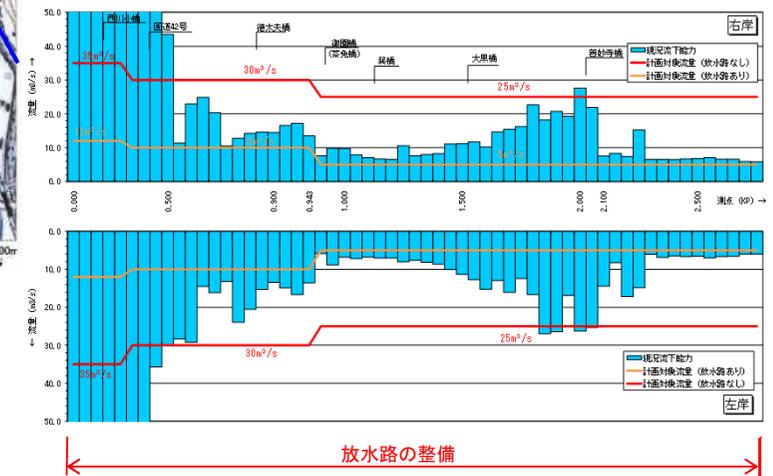
現地写真



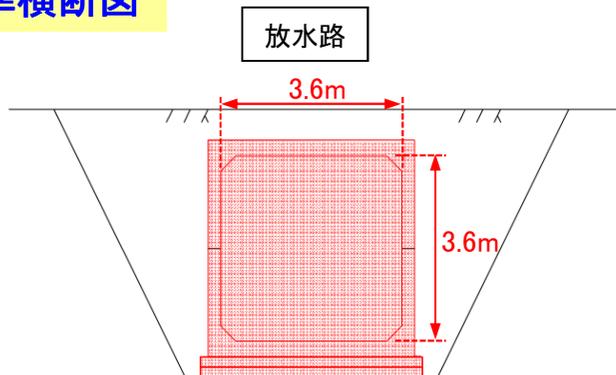
巽橋(1.1k付近)から下流を望む

流下能力図

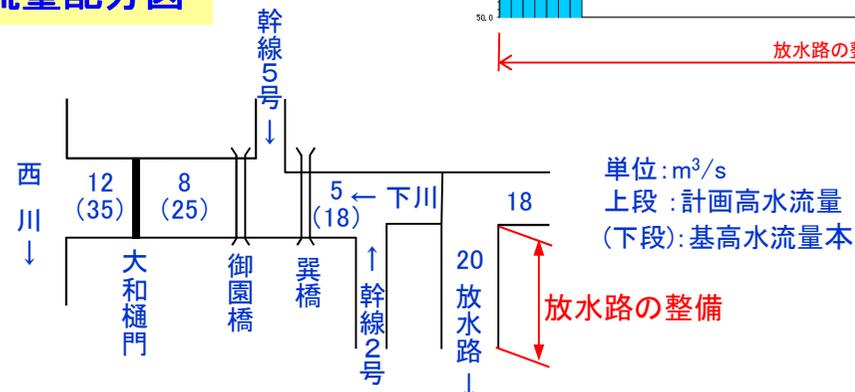
計画対象流量
:平成18年7月梅雨前線豪雨洪水と同規模



標準横断面図



流量配分図

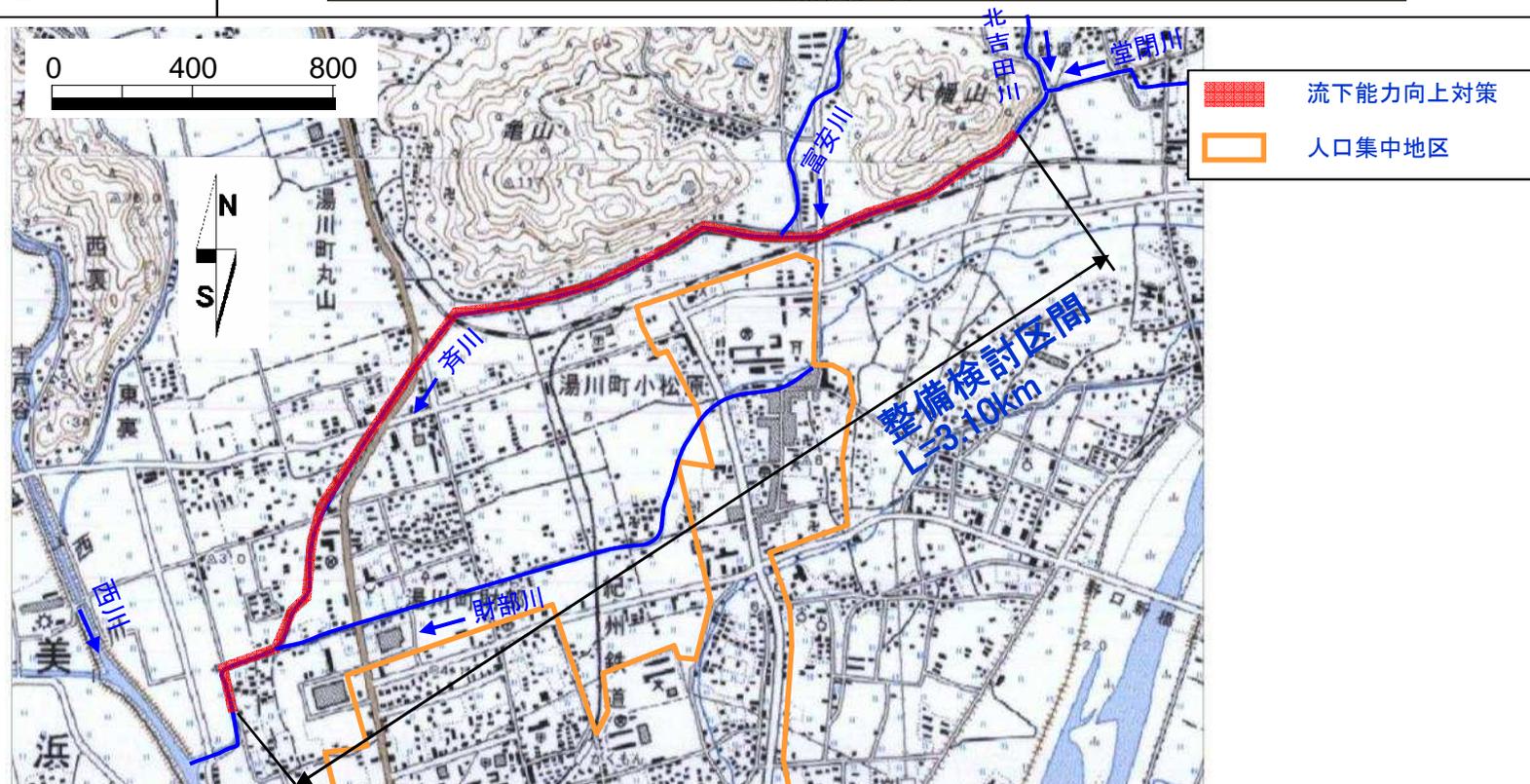


流下能力不足箇所 ～斉川～

整備検討区間

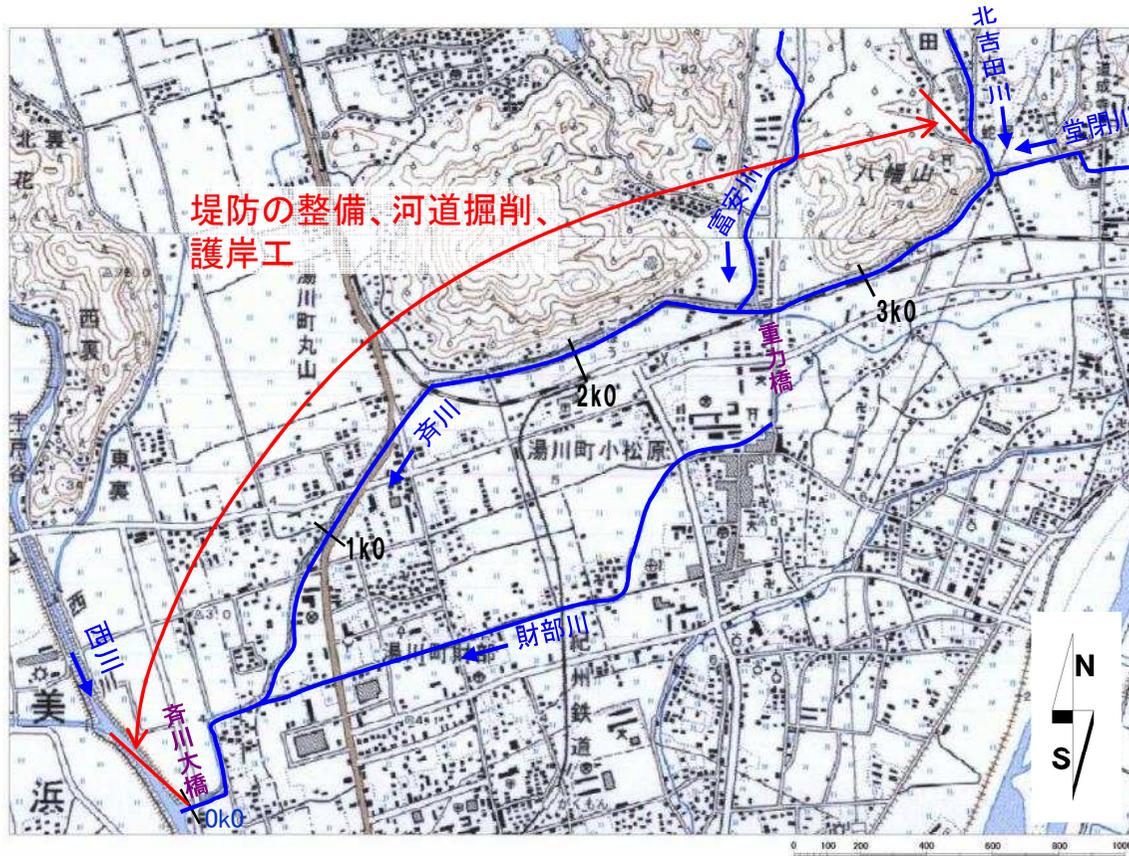
測点 (KP)		0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	
流下能力不足区間	右岸	不足			不足			不足		
	左岸	不足				不足			不足	
過去の浸水実績	右岸	浸水実績なし								
	左岸	浸水実績なし								
堤防状況	右岸	築堤					掘込み			
	左岸	築堤							掘込み	
土地利用	右岸	耕地		住宅地			耕地	住宅地	山付	
	左岸	住宅地	耕地	住宅地		耕地				住宅地
整備検討区間	整備検討区間									

位置図



流下能力向上対策 ～齊川～

平面図



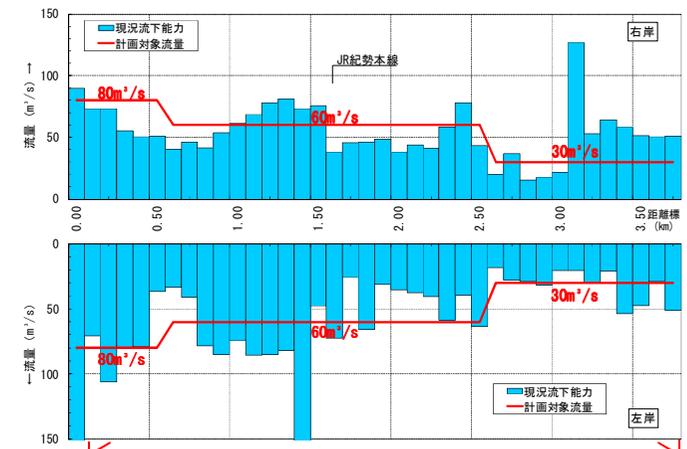
現地写真



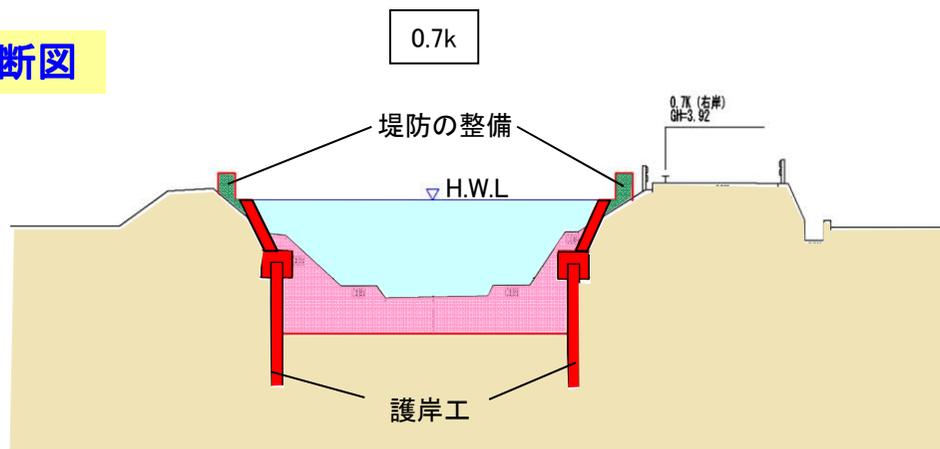
齊川大橋(0.0k付近)から上流を望む

流下能力図

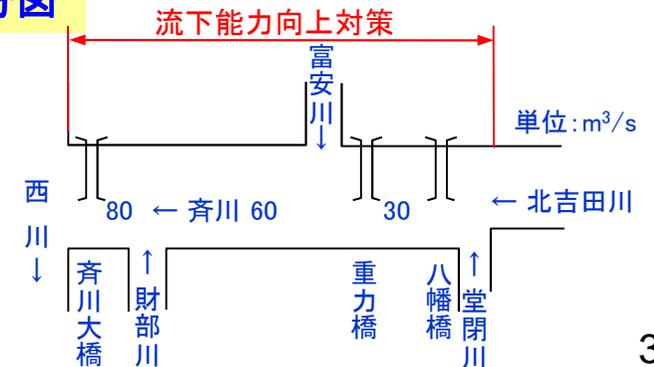
計画対象流量
: 平成18年9月豪雨洪水と同規模



標準横断面図



流量配分図



流下能力不足箇所 ～堂閉川～

整備検討区間

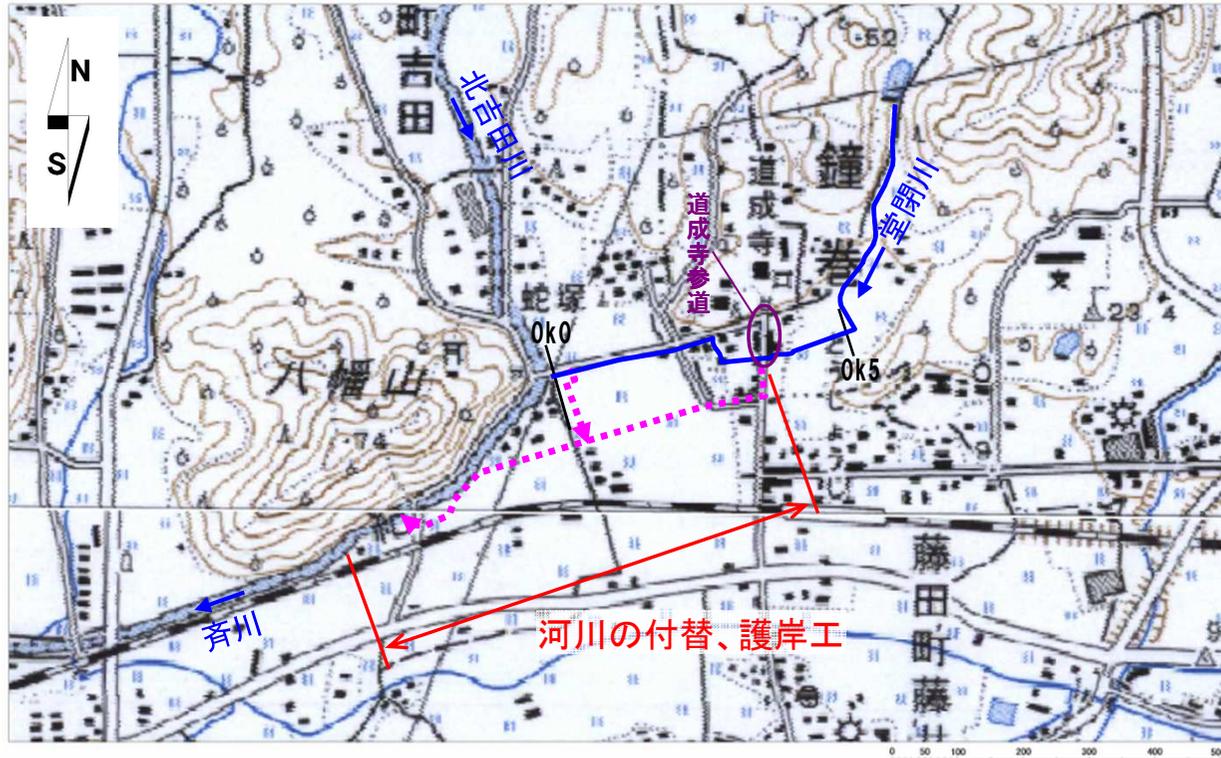
測点 (KP)		0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	
流下能力不足区間	右岸	不足										
	左岸	不足										
過去の浸水実績	右岸	浸水										
	左岸	浸水										
堤防状況	右岸	掘込み										
	左岸	掘込み										
土地利用	右岸	耕地	住宅地				耕地					
	左岸	耕地	住宅地				耕地					
整備検討区間		整備検討区間										

位置図



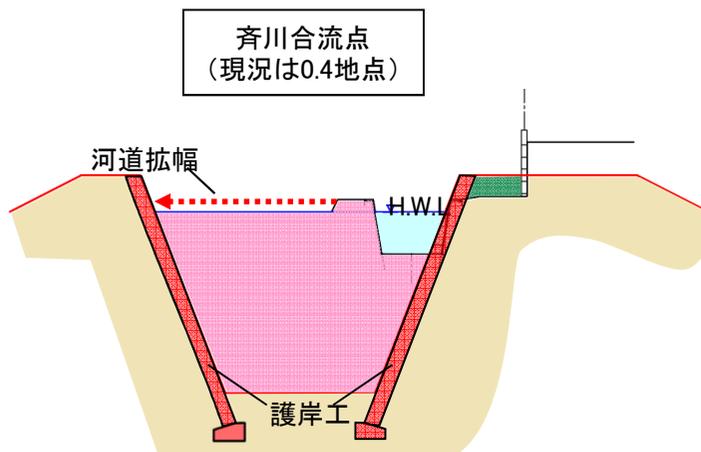
流下能力向上対策 ～堂閉川～

平面図



※今後の検討により、付替河川の法線等が変更されることがあります。

標準横断面図



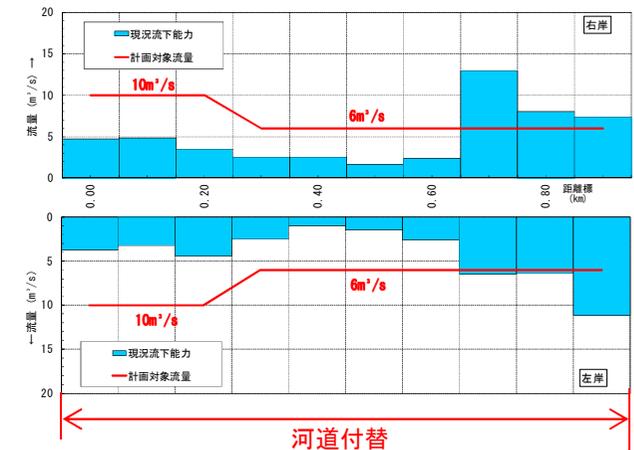
現地写真



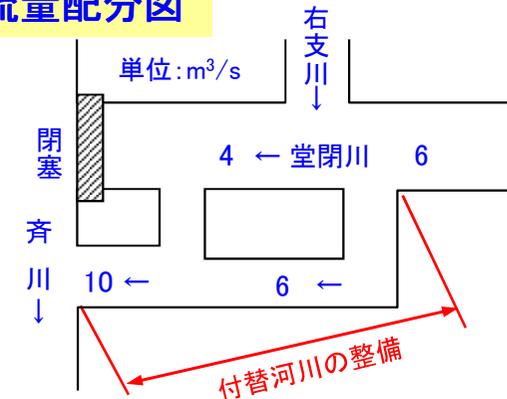
道成寺参道(0.3k付近)から下流を望む

流下能力図

計画対象流量
: 平成18年9月豪雨洪水と同規模



流量配分図



地震・津波対策

水門・樋門の遠隔操作化

- 南海地震等を想定した津波・高潮対策に備えて、堤防・水門・ポンプ場等の点検を行う。
- 当面、第1寺田樋門No.1、第1寺田樋門No.2、第2寺田樋門、田井樋門、千貫樋門、熊野川防潮水門、熊野川樋門の遠隔操作化を図る。

その他

- 東海・東南海・南海地震等に備え、河川を遡上する津波を防御できるよう必要な対策を講じる。
- 今後の地震・津波対策においては、必要に応じ最新の知見を反映し柔軟な対応を行う。

位置図



計画的に河川工事を実施する区間について①

計画的に河川工事を実施する区間①

整備目的	河川名等	計画流量 (m ³ /s)	計画降雨	整備延長等	整備区間等	主な改修内容
流下能力 向上対策	日高川 (若野地区)	3,100	368mm/2日	1.20km	6.200k ~ 7.400k	堤防の整備、河道掘削、護岸工、江川合流点処理
	日高川 (入野地区)	3,100	368mm/2日	3.57km	7.880k ~ 11.450k	堤防の整備、河道掘削、護岸工
	日高川 (平川地区)	3,100	368mm/2日	0.40km	16.045k ~ 16.445k	河道掘削
	日高川 (船津地区)	3,100	368mm/2日	0.40km	17.845k ~ 18.200k	堤防の整備
	日高川 (坂野川地区)	3,100	368mm/2日	0.40km	27.045k ~ 27.445k	河道掘削
	日高川 (田尻地区)	3,100	368mm/2日	0.40km	30.400k ~ 30.800k	河道掘削
	日高川 (三十木地区)	2,900	368mm/2日	2.54km	37.805k ~ 40.345k	河道掘削、盛土、護岸工
	日高川 (皆瀬地区)	2,900	368mm/2日	2.76km	43.680k ~ 46.445k	堤防の整備、河道掘削、護岸工
	日高川 (浅間地区)	2,900	368mm/2日	0.34km	48.545k ~ 48.885k	河道掘削

計画的に河川工事を実施する区間について②

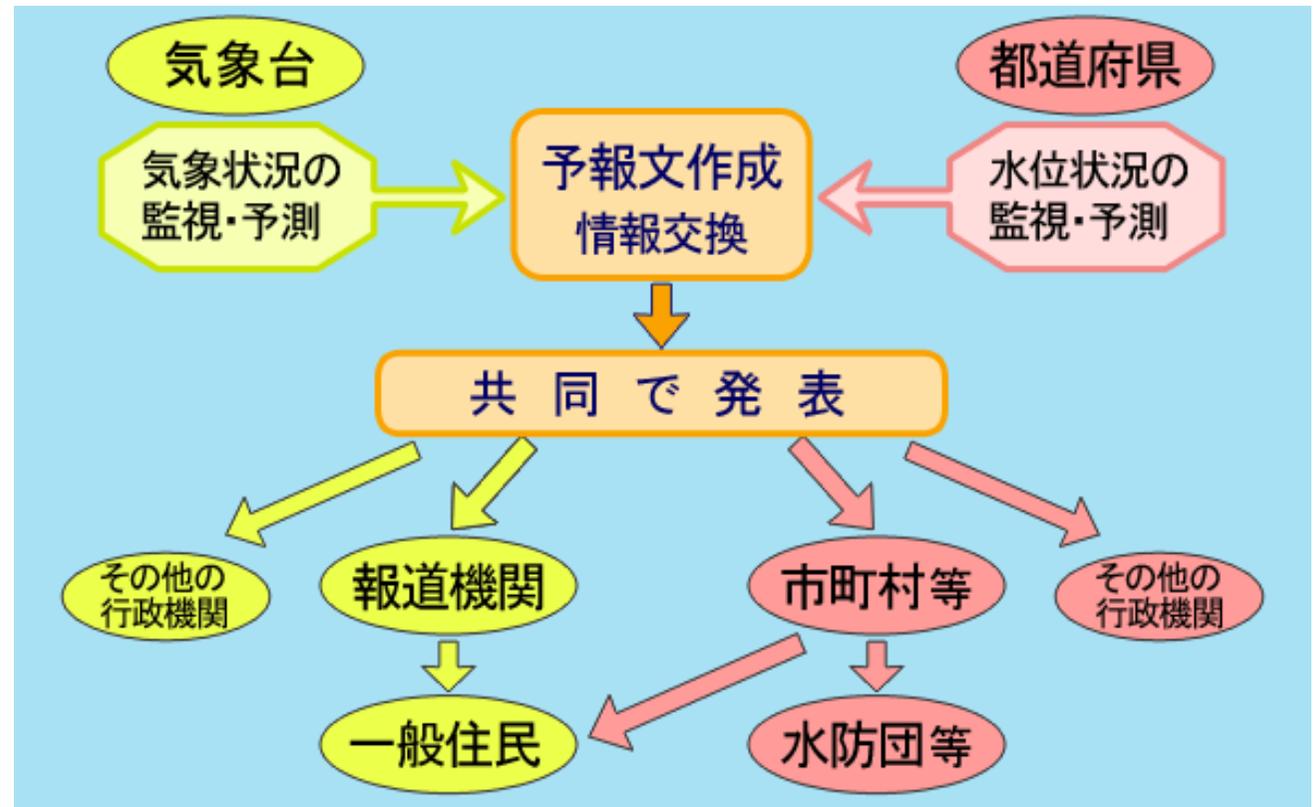
計画的に河川工事を実施する区間②

整備目的	河川名等	計画流量 (m ³ /s)	計画降雨	整備延長等	整備区間等	主な改修内容
流下能力 向上対策	西川	上流 240	97mm/2hr	4.80km	0.500k ~ 5.300k	堤防の整備、河道掘削、護岸工 東裏川合流点処理
		下流 500	126mm/2hr			
	下川	20	69mm/hr	1.50km	0.000k ~ 1.500k	放水路整備
	斉川・堂閉川	斉川 80	69mm/hr	3.55km	0.000k ~ 3.550k	堤防の整備、河道掘削、護岸工
堂閉川 10		69mm/hr	0.66km	-0.260k ~ 0.400k	河道付替	
地震・津波 対策	水門・樋門 対策	—	—	7施設	第1寺田樋門No.1、第1寺 田樋門No.2、田井樋門、 第2寺田樋門、千貫樋門 、熊野川排水機場、熊野 川樋門	水門・樋門の遠隔操作化

河川情報の提供による 水防活動の支援等～防災情報①～

- ・平成16年3月に洪水予報河川に指定
- ・平成25年6月に洪水予報区間が河口から椿山ダム地点まで拡大
- ・洪水被害の軽減を図るため、和歌山地方気象台と共同して洪水予報の迅速な発表を行うとともに、関係機関と迅速、確実な情報連絡を行う。

洪水予報河川の概念図



河川情報の提供による 水防活動の支援等～防災情報②～

県の河川情報システム例

和歌山県 河川雨量情報

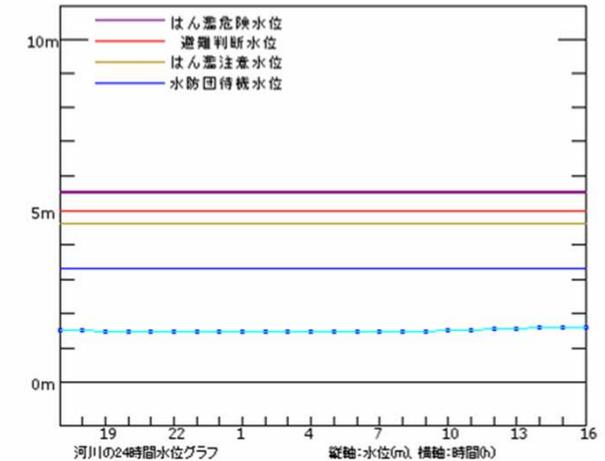
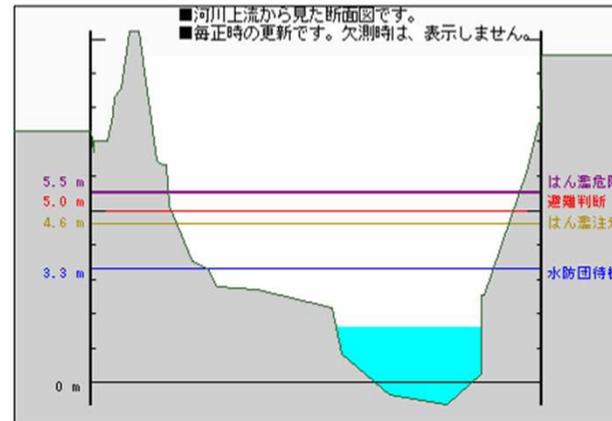


川辺 水位観測所

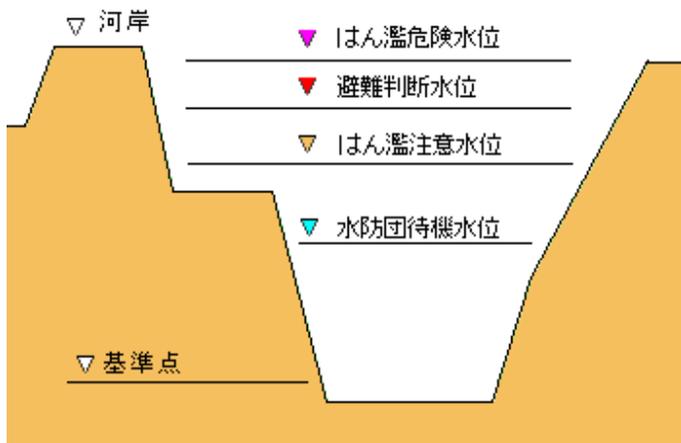
日高振興局建設部 川辺 水位観測所 2012年04月03日16時40分 現在

川辺 水位観測所		観測局情報: 川辺(かわべ)		
観測局情報	現状水位(m)	1.66	はん濫危険水位(m)	5.50
水位状況図	河川名	日高川	避難判断水位(m)	5.00
水位変化表	所在地	日高川町 玄子	はん濫注意水位(m)	4.60
	所在地詳細	松瀬橋 右岸	水防団待機水位(m)	3.30

水位状況図



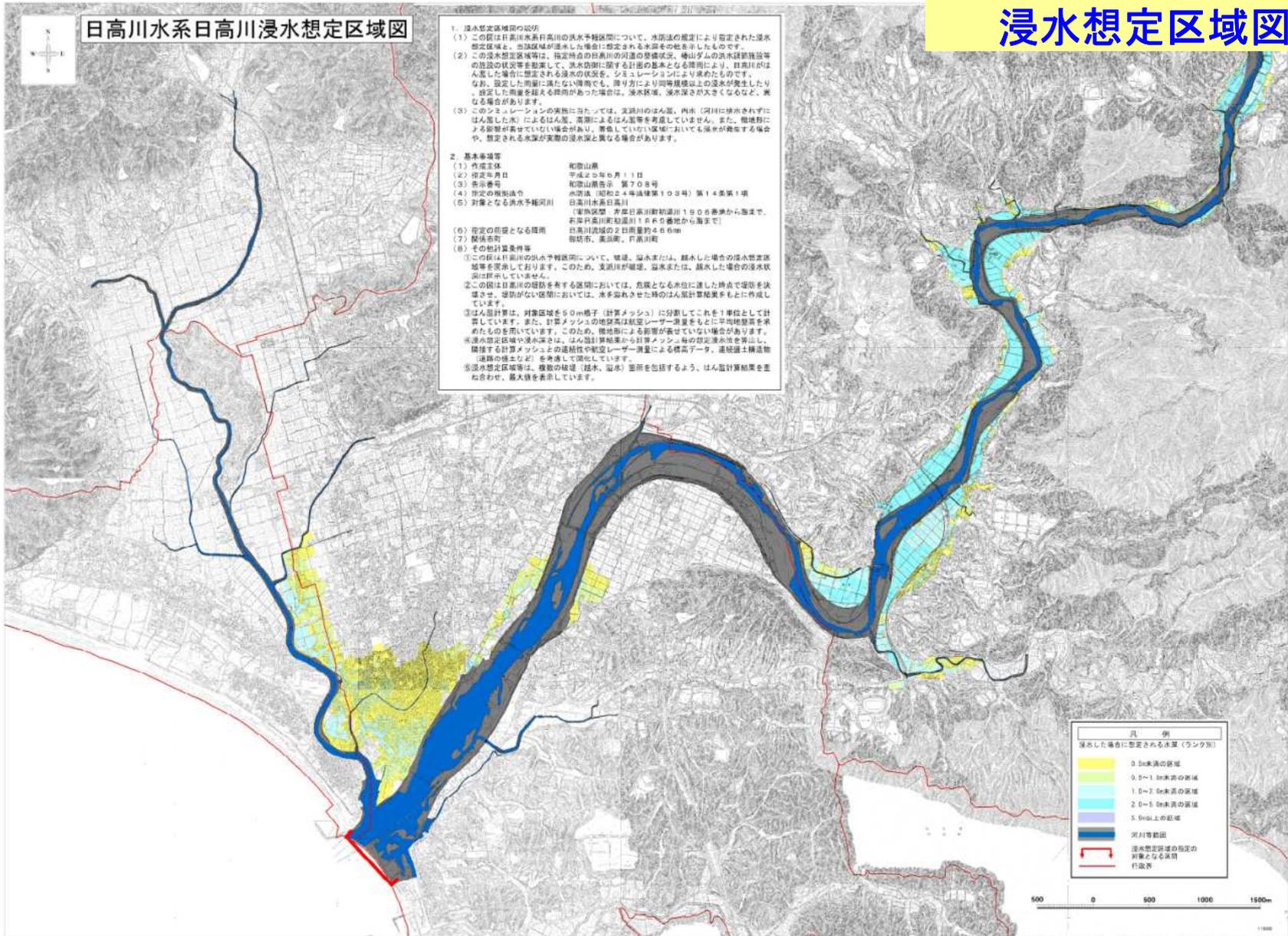
水位情報



洪水の危険レベル	洪水予報の標題	水位の名称	市町村・住民に求める行動
レベル5	はん濫発生情報	(はん濫発生)	逃げ遅れた住民の救助等
レベル4	はん濫危険情報	はん濫危険水位	住民の避難完了
レベル3	はん濫警戒情報	避難判断水位	市町村は避難勧告等の発令を判断し、住民は避難を判断
レベル2	はん濫注意情報	はん濫注意水位	住民ははん濫に関する情報に注意
レベル1	—	水防団待機水位	水防団待機

河川情報の提供による 水防活動の支援等～防災情報③～

浸水想定区域図

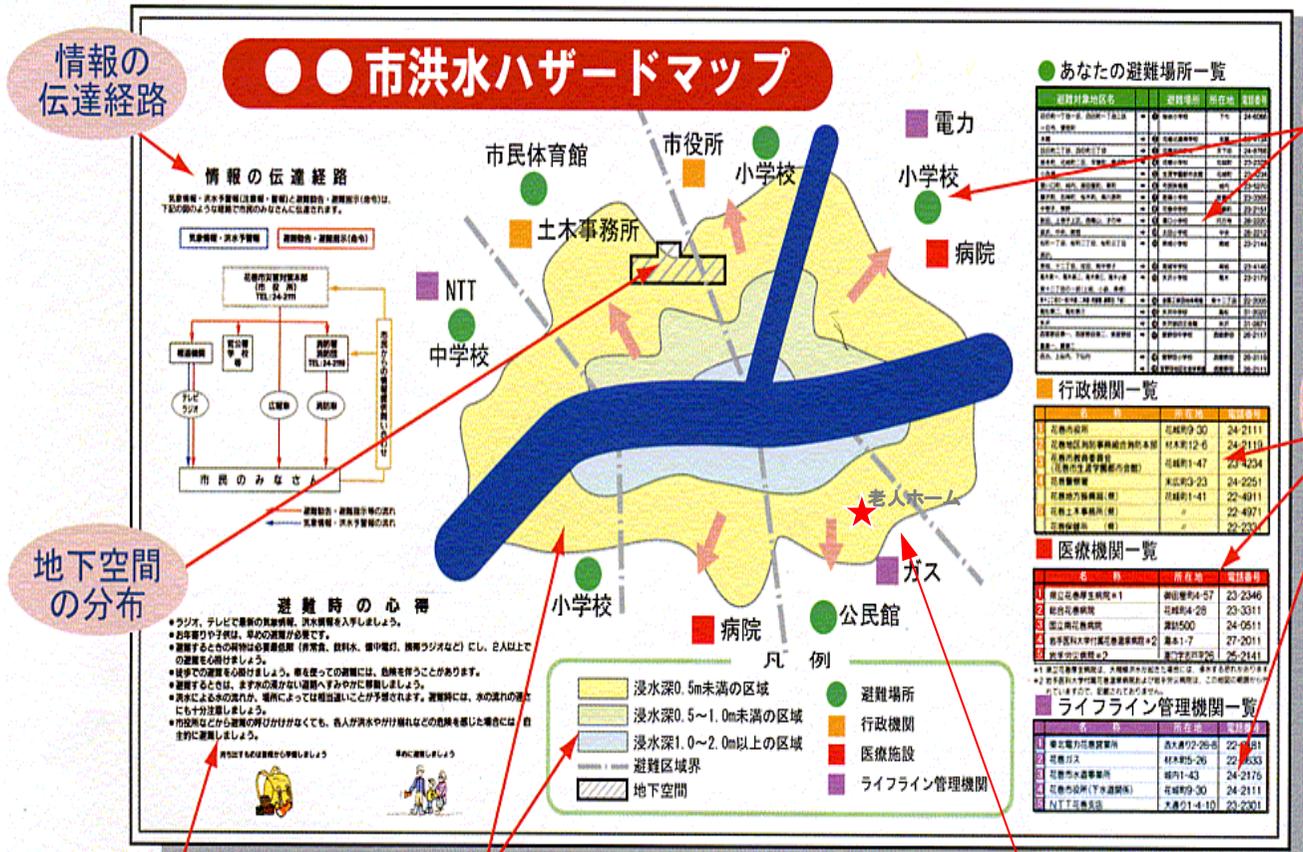


河川がはん濫した場合に浸水が想定される区域とその水深を示した図面。

河川情報の提供による 水防活動の支援等～防災情報④～

洪水ハザードマップイメージ図

浸水想定区域図に避難場所、避難経路、洪水予報等の伝達方法、避難時の心得等を示したマップで、市町村が作成。



情報の伝達経路

避難先の位置・名称

地下空間の分布

連絡先
行政機関
医療機関
ライフライン管理機関

避難時の心得・持ち物

浸水想定区域・浸水深の明示

災害時要援護者(高齢者、障害者、乳幼児等)が主に利用する施設

流域における取り組みへ

清掃活動

- 日高川水系の河川の治水、利水、環境に対する意識や理解の向上を図るため、県のホームページや各種イベント等を通じて、河川に関する広報活動を強化するとともに、河川愛護月間等における広報活動を通じて、河川愛護、河川美化等の啓発を強化する。
- 良好な河川環境を保全するため、地域団体等が自主的に行う清掃、除草及び緑化等の活動を支援するスマイルリバー制度や河川愛護団体への支援を推進するとともに、水系内河川の水害や自然環境に関する事項を含め、水辺を活かした子どもたちの総合学習等の支援を行うため、地域住民や関係機関と連携した取り組みを進める。



日高川



矢田川

その他河川整備を行うために必要な事項

【河川管理施設の維持管理】

- ◆堤防や護岸については洪水時に機能が維持されるよう適切な補修を実施する。
- ◆ダム・水門・排水門(樋門)及び排水ポンプ場(排水機場)等の河川管理施設については、洪水時に良好な機能が発揮できるよう平常時の河川巡視や点検等により施設の損傷などの変状を早期に発見するように努め、機能の低下を防止するための修繕・機器の更新(長寿命化等)を行う。
- ◆椿山ダムに流入するゴミや流木等については、貯水池に設置した網場により集積し、撤去していく。

【ダム操作ルールの見直し】

- ◆下流の洪水被害軽減を図るため、椿山ダム下流河道における河川改修の整備状況に対応して、ダム操作ルールを適宜見直す。

第1回 日高川(中上流域)を考える会での 主なご意見とその対応について

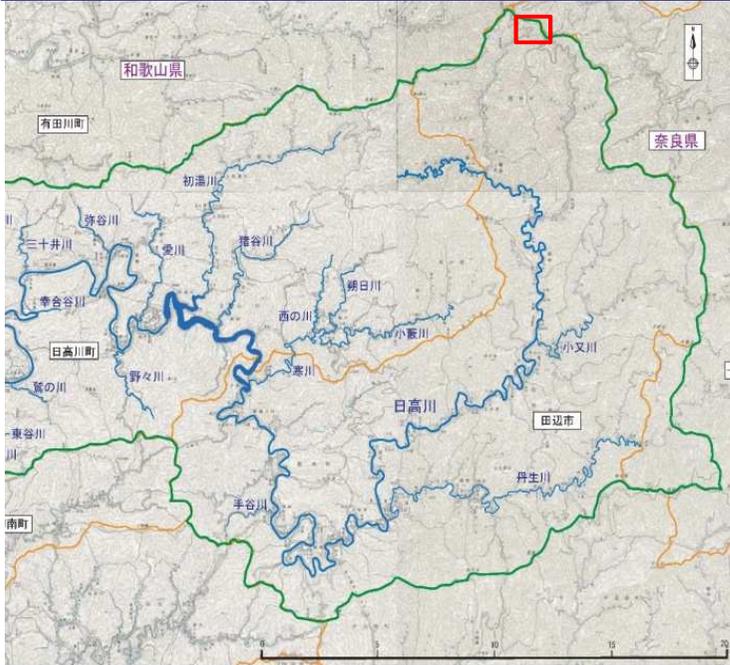
第1回考える会での主なご意見とその対応について

項目	ご意見	県の回答(補足)
1	<p>龍神の奥で龍神スカイラインの工事残土が流されており、その影響で椿山ダムがいつまでも濁った状態になっているので、一度確認していただきたい。</p>	<p>ごまさんスカイタワー西側において土砂崩壊状況を確認。関係機関とその対策について検討していきます。</p>
2	<p>日高川で工事の際に大きな玉石ばかり撤去されると魚の逃げ場所がなくなり魚が成育しない。工事の際に配慮していただきたい。</p>	<p>魚類の生息環境については、巨石などは護岸の水際に移設する等、工事の中で配慮していきます。</p>
3	<p>堂閉川は、これまで浸水対策が進まなかった。対策案を提案していただきたい。</p>	<p>今回説明。</p>
4	<p>椿山ダムは事前放流で治水機能向上ということであるが、平成23年台風12号では事前放流しても同じ被害が発生していたと新聞に載っていたが、どういうことか。</p>	<p>平成23年台風12号では、計画の約1.8倍の水の量がダムへ流れ込みました。この洪水を踏まえて、平成24年6月から新たなダム運用として事前放流を実施しましたが、同洪水ではダムの治水容量が大幅に足りず、ただし書き操作に移行することになりと試算しています。</p> <p>しかし、事前放流をすることにより、ただし書き操作開始を約1時間40分遅らせ、また、最大放流量を約130m³/s(3%)低減できる効果があると試算しています。</p>

第1回考える会での主なご意見とその対応について

項目	ご意見	県の回答(補足)
5	日高川と野々川の合流点で土砂堆積がしているので、対策を願いたい。	野々川合流点付近において土砂の堆積を確認。河川状況について注視しつつ、適切な維持管理に努めます。
6	ポンプで取水を行っているが、河床低下が進めば取水ができなくなるので考慮願いたい。	日高川下流域において維持管理に伴う河床掘削を除き、河床掘削実施予定箇所は若野地区のみであり、これまで通りポンプの取水に影響がでないよう配慮していきます。
7	日高川小熊地区の洗掘対策について、計画的に対策を進めていただきたい。	対策工法の検討を進め、値固めブロックの補充など適切な維持管理に努めます。

1) 日高川上流域での土砂崩壊



崩壊状況



ごまさんスカイタワー



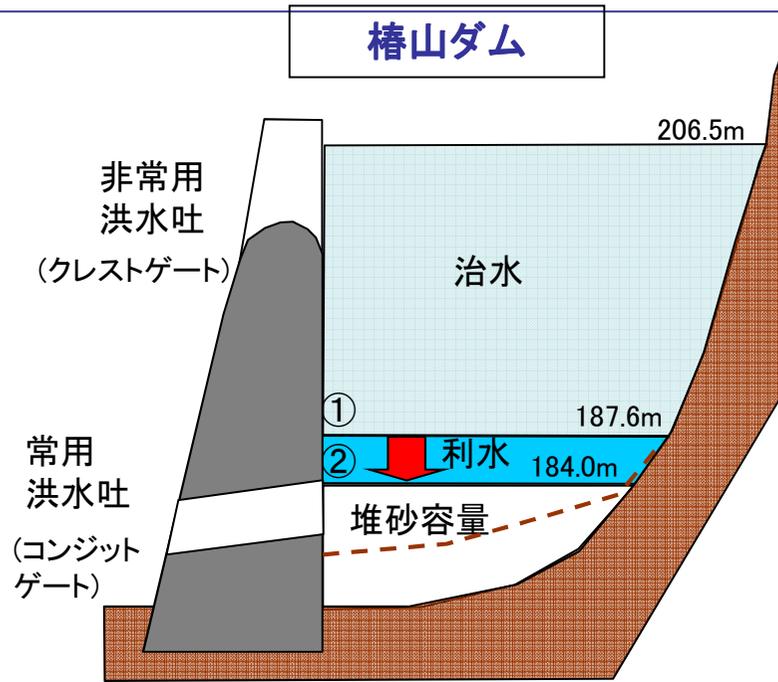
林道小森2号線

対応

関係機関と対策について検討していきます。

4) 椿山ダム台風12号の対応について

平成23年台風12号水害を受けて、計画規模を超える洪水が予測される際に、利水容量を一時的に活用して、あらかじめ可能な限り水位を低下させ治水機能の向上を図る。



【容量配分図(洪水期 6/16~10/15)】
 ※概念図であり、縮尺や縦横比等は異なる。
 ※茶色の点線は、現状の堆砂面。
 ※水位は、標高表示。

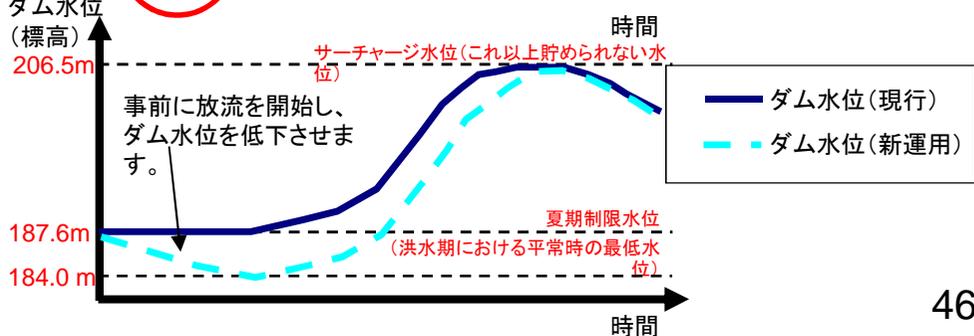
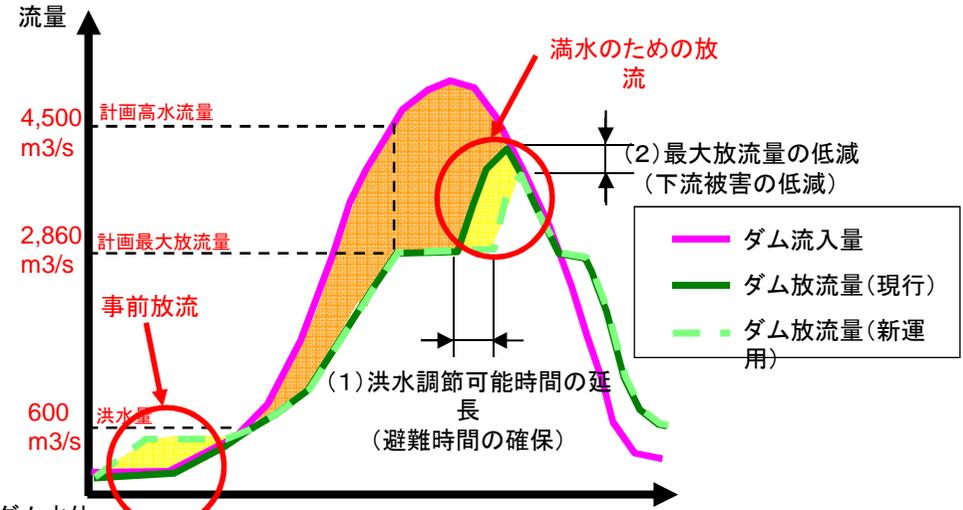
現行：夏場は①まで水位を下げ、治水の部分空にして大雨に備えています。
新運用：ダムが満水になるような大雨が予想される時は、あらかじめ②まで水位を低下させます。

治水容量	現行	3,550万m ³
	新運用	3,950万m³ (現行 + 利水容量)

期待される治水効果

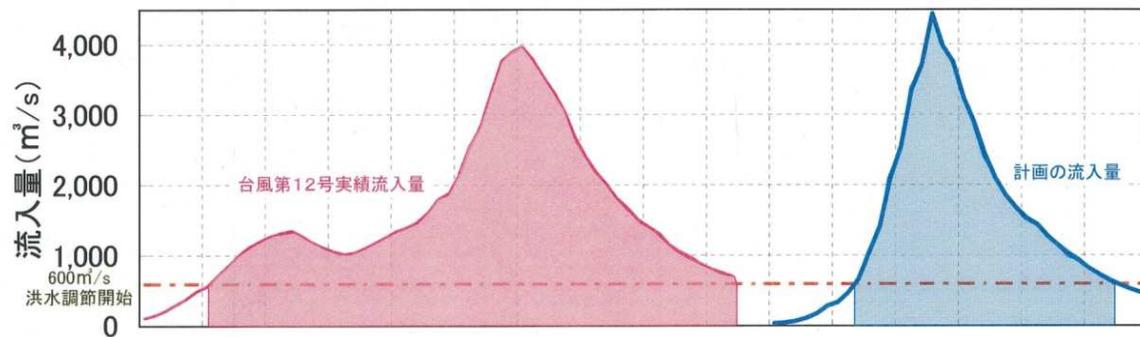
- (1) 事前放流により、貯められる量が多くなるため、より長く洪水調節を行うことができます。
- (2) 事前放流により、貯められる量が多くなるため、最大放流量を低減できます。

(イメージ)



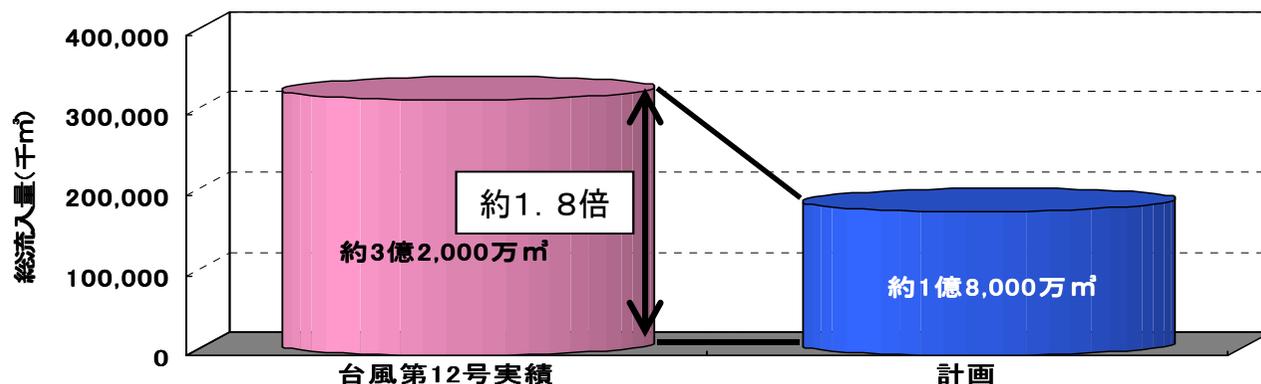
4) 椿山ダム台風12号の対応について

椿山ダムへの流入量



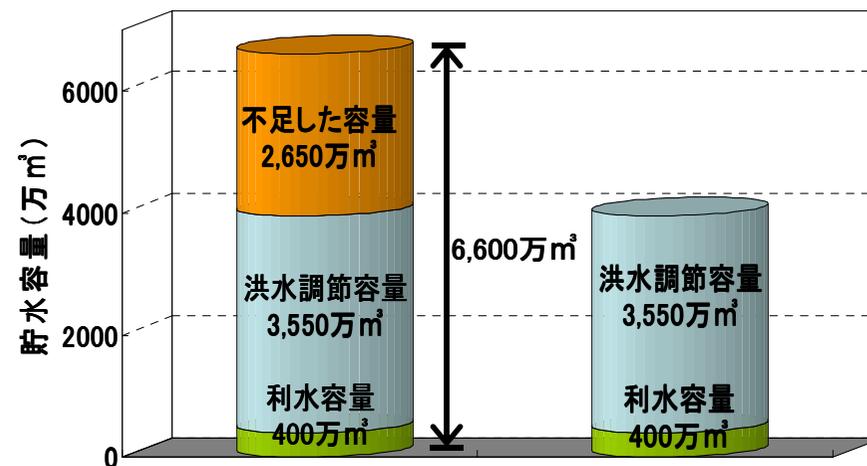
計画を大幅に上回る洪水が椿山ダムに流入した。

※ダムへの流入量が洪水調節開始流量を超えてから、下回るまでの総流入量の比較



台風12号洪水を調節するために必要な容量(試算)

新たな運用により、現行の治水容量(3,550万m³)に利水容量(400万m³)を加えた治水容量(3,950万m³)であっても、台風12号洪水に対しては容量が大きく不足し、ただし書き操作に移行する。



5) 野々川合流点付近の土砂堆積



下流付近より



野々川合流点より下流

対応

河川状況について注視しつつ、適切な維持管理に努めます。

7) 日高川小熊地区の洗掘対策について

位置図



航空写真



現況写真



小熊大橋(5.0k付近)より下流を望む



根固ブロック流出状況

対応

対策工法の検討を進め、根固めブロックの補充など適切な維持管理に努めます。

本資料は、日高川水系河川整備計画(素案)の作成にあたり、「日高川(中上流域)を考える会」において、委員からの意見聴取のため、和歌山県が作成した資料であり、本資料の内容は、調査・検討途上の情報を含み、今後の県による調査・検討・確認作業、委員や県民等からのご意見・ご指摘などを受け、追加・修正される可能性があります。